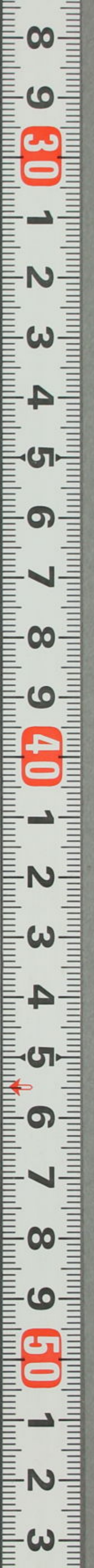


書國字源



□ 12  
2319  
3





口白 2319 3

四書國字辯論語卷之三

公治長第五

コノ篇古今ノ人物ノ賢不賢ノ得失ヲ評論スルモノ格リ  
理ヲ窮ルノ一端チヤ胡氏ノ料簡ニ子貢ノ門人ノ記スル処ナラン

子曰謂公治長可妻也

謂トハウワサスルヲチヤ公治ハ姓ア長ハ名  
デアル孔子ノ門人チヤ妻ストハツニスルヲ云

雖在縲紲之

中非其罪也以其子妻之

縲トハ黒イ縲ノヲ縲ハツナクトヨムニハルヲチヤ古ハ罪ヲ  
名イ縲デハリテ獄中ヘ入タルユ縲縲ノ中ニアリト云

ハハ窮レタヲニテル公治長ハ牢ヘ入タフアレ長ガオカシタル罪デナイユ一ツノ人ヲオトスニタラ  
ストテ孔子ノムスメラ長アハセテ妻トナシユフ或説ニ公治長ガ備カラ魯ニカヘル道ニテ鳥ノ  
ナク声ヲキクニ清溪ニキテ死人ノ肉ヲ食フトテ友ヲヨヒタリ少レユキタレバ老嫗ガ道ノハタ  
ニ哭テイルユ公治長ガナニユ一哭ゾトキタレバ私ノ子ガ前日出テ今ニカラス定メテ死ダテアラ  
フ其死骸ノアリ処ガレメユヘナクト云公治長サキニキタル鳥ノ声ノヲ云テ定メテ是レガソノ  
方ノ子デアラフト教レニヨリユキテミレバ我が子テ有タ是レハ大方公治長ノ殺レタモノナラン  
ト疑ヒ村官ニウツタヘタレバ村官キ、テ公治長ハナニニソノ方ノ子ヲ殺レタルヤト問フ嫗ガ  
答ニ公治長ノ道ニテオレヘタルヲ云村官又長ニ何ユ一人ノ子ヲ殺レタルト云長トリノ  
声ヲキ、テ知リタリト云然ラバカサ子テ鳥ノナク声ヲキ、ワケサセテ云フ処實ナラハ極シ  
若シイッハリナラバ死罪ニ行ハントテ六十日ノ開牢ヘ入テ置タルニ或ル時ニ獄ノ近処テ鳥ノ多ク  
ナクヲ長ニキ、タレバ是レハ白蓮水ノホトリテ黍粟ヲツケタ牛カ車ヲヒツクリカヘン解ラ  
オリ黍粟ガ多クコボレテアルヲ啄ントテ友ヲヨフト云ユヘ入ヲツカハレテ見タレバ長ガ詞  
如クテ有タ後ニモ燕ノ語ヲキ、ワケタルユ一放ラル、ヲ得タリト  
信用スルニ足ラ子モ昔レカラ云ヒツタヘタユ一此ニ記ス

○子謂南容

南容





ノ弟子ニテ南宮ニラリレユ一南宮氏ナルヲ畧ノ南宮ト云名ハ縉又ノ名ハ縉字ハ子容オクリ名ヲ敬叔ト云孟懿子ガ兄ヂヤ

邦無道免於刑戮南宮ガツ子ニメツタナコトヲ云ス身ノ行ヒラツシムユヘアゲ用イラレン

仰セラレ南宮ガツ子ニメツタナコトヲ云ス身ノ行ヒラツシムユヘ以其兄之子妻之南宮ガツ子ニメツタナコトヲ云ス身ノ行ヒラツシムユヘ

○子謂子賤子賤ハ字ニテ姓ハ宓名ハ不ナクノ小入權ヲホレイニニスル世ニアフモ

君子哉若人君子哉トハ君子ノ徳アルヲ云若キ人トハカヤウナ徳アリト云フ弟子

魯無君子者斯焉取斯上ノ斯ハ子賤ヲサレ下ノ斯ハ子賤ガ徳アルヲ又魯國ヲモホメテ子賤ガ徳アルト云モ魯國ハ君子者ノ多クニソノ君子ノ徳ヲ

問曰賜也何如孔子ノ諸弟子ヲ評判シテフニ子貢ニツク子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道

子曰女器也器トハ道子曰女器也器トハ道



コノムヲ我ヨリモスキタリ然レ居當然ラハカルナレト義ニ勇ナルヲ  
ホメテフヤウナレ居實ハ事理ヲハカリシカニモ又ヲ戒ムル詞デアレ  
○孟武伯問

子路仁乎子曰不知也  
武伯ガ孔子ニ問人ノ中ニ子路ト云モノアリ是ハ仁人カト問フ  
夫子モ仁ト云モノハ日ニ三々至リ又八月ニ三々至リテ定メニクモ

又問  
武伯カサテ夫子ノ知リテハ又  
子曰由也千乘之

國可使治其賦也  
千乘ハ諸侯ノ国チヤ前ニアリ賦ハ兵賦ノコト也古ハ農ヨリ兵ヲ出  
シタルニ軍兵ノコトヲ賦ト云フ賦ハ田地ニカケテトル役錢デアル子路

不知其仁也  
子路ガ才ガク  
ノ如クナレ居

子曰求也何如  
武伯又冉求ガ  
仁ヲ問

子曰求也千室之邑百乘之家可使爲之宰

也  
夫子仁ノコトヲ云ハスノ冉求カオノコトヲ以テ答ヘタニフ千室ノ邑ハ卿大夫ノ邑チヤ家數千カ  
リアル処デアアル百乘ノ家ハ三公ノ采地チヤ宰トハ邑ノ奉行家ノ執事冉求ガオカ千室

不知其仁也  
前ニ  
赤也何如  
赤ハ公西華ガ  
家ヲ富シ民ヲユタカニスルニハ不足ナレ

子曰赤也東帶立於朝可使與賓客言也  
東帶ハ朝服ノ一諸  
侯ノ來朝スルヲ賓ト

不知其仁也  
夫子コノ三人ソノオノ用ユキヲ云ルニ仁ヲ云ルハスソノウヘ聖人ノ人ヲ教ス  
實ヲ施スタメダヤ今時ノ學者ノ如ク經史ニヒロク詩文ニ長ジタルバ

○子謂子貢曰女與回也孰愈  
夫子ニ子ノ  
智ノ優劣

對曰賜也何敢望回也聞一以知十賜也聞一

以知十  
子貢ミツカラ顔回ニ及ザルコトヲ答フルナリ敢望トハ之ニ立テモ及ハヌラ云顔子

吾與女弗如也  
子貢ガ顔子ニ及バヌト云処ヲ  
手前テ合点シタラホメテ云ルモ

子曰朽木不可雕也  
クチクサリタル木ニハ  
ホリモノハナラヌ

宰予晝寢  
○宰予晝寢

顔子六及バヌ  
子貢ガ顔子ニ及バヌト云処ヲ  
手前テ合点シタラホメテ云ルモ

子曰朽木不可雕也  
クチクサリタル木ニハ  
ホリモノハナラヌ

於予與何誅  
宰予ガヤウナモノハソノ罪ヲセメテモ役ニタ、  
又言語ニカ、ラヌトノ玉フカ却テ深クセムル詞

子曰始吾於人也聽其言而信其行  
宰予ハ辯舌ノヨイ人ナルユヘ夫子カ  
一サ子テノ玉フ始メトハ夫子ノワカヒ

今吾於人也聽其

言而觀其行  
今ソノ詞ト行ヒノチカフコトヲ知ルニ詞ヲキ、ソノ行ヒヲ

於予與改

身ノオコナヒモ詞ノ通りデアラフト信ジウケ合シカ

於予與改

於予與改

於予與改

於予與改



是詞ヲキテ身ノ行ヒテヨカラフト思フタ ○子曰吾未見剛者剛ハツヨクノ

トハ無欲ニシテカラヌモノヂヤスベテ何ニテモコノムカアバソレカラ剛カタワム欲ノタメニ剛

或對曰申枨アリコノ人ハ剛者ナラント云 子曰枨也慾焉得剛慾トハ私欲ノチヤ人トノ欲ガ多ケレバソレニヒカサルユニ義ノマサニスベキ処ニオイテナサ

トハセ ○子貢曰我不欲人之加諸我也吾亦欲無加諸人ト思ヘド欲ニヒカレテセヌヤウニナルカクノ如クナレバ申枨ナドハナニトノ剛ナルヲ得剛者

トハナイヤウニシタク思フチヤ人ノ心ト云モノハ皆同レヤウナモノナレバ無理ナラフ入カラ

ク思フ子貢子曰賜也非爾所及也子貢ノトフ処ハ仁ヂヤソコナシカ及フ

止ノ詞ト注ノチカラヲ用ヒツトメテヤメルトデアアル欲無トハレ井ツトメズオノツカラ

文章トハ徳ノ外ニアラハレタル威儀容貌文字言語ノ夫子之言性與天道不可

得而聞也性ハ人ノウケ得テ生ル処ノ天理ヂヤ天道ハ天理自然ノ本体デアアル是ラ

却テ害ニカレトヤ子貢ハジメテ ○子路有聞未之能行子路ガ人トナリ孔子

行フアタ唯恐有聞前ニキタルヲ速ニ行ヒレハ常人ノ及ハヌ処デアアル

○子貢問曰孔文子何以謂之文也孔文子ハ衛ノ大夫ヂヤ孔ハ氏名ニ

文也スベテ敏ナルモノハ学ヲコノムモノヂヤガ文子ハ学問スギデアアル位ノ高イモノハ

事ガ君子ノ道ニ其行己也恭恭ハイギンナルヲ子産ガ己ガ身ノ行ヒツ子ニイギン

其事上也敬上ハ君親スベテ己ガ上ニアル人ヲ云コレニ

其使民也義儀ハ宜守ノ義テ都鄙貴賤ノ

子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分

○子曰晏平仲善與礼節ヨロレキニカナヒ各ソノ分



入交 晏平仲云平八オクリナ仲ハ字チヤ晏子ハ齊ノ 久而敬之 敬ハダイ

大夫ニテ孔子ノ友ダチデアアルト交ル道ノヨイヲホメヨフ スルノナルユ心ノツクシト 魏ノウヤニヒトヲカ子テ云入ノ交リト云

ノハ暫ノアイダハ三ツクシテ無礼ナラセ子尼久レクナルト心ヤスタテガ出テ礼義ガ壞レタガハ晏平仲ハ

ツマデモ敬ガオト知ヌ常人ノ及ハヌ ○子曰臧文仲居蔡 臧文仲ハ魯ノ大夫臧

処ナルユハ夫子ノ稱美ナサルデアアル 孫氏名ハ辰ト云文ハオ

クナ仲ハ字チヤ蔡ハ大龜ヂヤ一尺ニサアルヲ大龜ト云コノ龜蔡ノ地ヨリ出ルニヨリ蔡ヲカメ

ノ名トスルデアアル大龜ヲタクハ一置テ吉凶ヲトハ諸侯以上ノヲニテ大夫ハチイサキ龜ヲ

用ユルナル臧文仲ソノ身大夫トノ 山節藻稅 山節トハ節ハ梁ノ上ノ掛チヤソノ柱ノ

大龜ヲ畜置テ僦ト云モノヂヤ 何如其知也 時ノ人カ臧文仲ヲ智アリト云ニヨリソノ

ハ水草ヂヤ稅ハ梁上ノツカバレラデアアル是ニ藻ノエヲカキテカザリトスルヲ云山節藻稅ニ

ハ天子ノ宗廟ノカサリニ用ユル処ナルヲ臧文仲カ居室ニ施スハ甚タシキ僦上チヤ

文三仕爲令尹無喜色 令尹ハ楚國ノ官ノ名チヤ楚國ニテハ上卿ヲ令尹ト云令

尹子文ハ楚ノ大夫姓ハ鬬名ハ穀字ハ於菟ト云子文ハオク

リ名チヤ子文生レテ故アリテ山ニステタリシニ虎キタリテ於菟ト云コノ子虎ノ乳ヲノ

シラヒロイ來レバ名ヲシラズ楚國ノ人ハ乳ヲ穀ト云ヒ虎ヲ於菟ト云コノ子虎ノ乳ヲノ

ミタルユハ穀於菟トヨビタリシガ後ニ鬬穀地ガ子ナルヲ知レタリ子文成長フ

後ニ楚ノ上卿トナリ政ヲトリ行フニ及ベウレシゲナル顔色ニ及 三已之無

愠色 三タヒ上卿ノ官ヲヤメラルレバ 舊令尹之政必以告新令尹何如 官

ムレトハラ立ツ顔色モナシ 子曰忠矣 ソレハ國ノタメニ

我カ身ヲカハリニ 曰仁矣乎 子張カ心ニ定メテ仁アリト答ヘ至ハント思ヒタルニ

云モノチヤ 子曰忠矣 子張カ心ニ定メテ仁アリト答ヘ至ハント思ヒタルニ

又ニ忠ト 曰仁矣乎 子張カ心ニ定メテ仁アリト答ヘ至ハント思ヒタルニ

子文カ身ノ行ハ並ガノ人ノ及ハヌ知ナレソノ心慮ニテ天理ヨリ出テ 崔子弑君 崔

人欲ノ私ナイコトヲ知ラヌ忠ヲユルレテ仁ヲユルレハズ 崔子弑君 崔

齊ノ大夫崔杼チヤ乱ヲオコノ齊君 陳文子子ハ

莊公ヲコロス子張ガ問デアアル 陳文子有馬十乘棄而違之 陳文子ハ

チヤ陳氏三ノ名ハ須無ト云十乘トハ車一兩ヲ馬四匹ニヒクユハ四十四ヲ十乘ト云古ハ馬ノ

カズニテ身上ヲ稱スルデアアル上ノ下モヲコロスヲ殺トイヒ下モトノ上ニヲコロスヲ弑ト云陳文子ハ

崔杼ガ君ヲコロスヲ見テ手前ノチカラニテハ崔杼ヲ 至於他邦則曰猶吾大夫

討ナナルマシキヲ知テ十乘ノ身上ヲステ他國ニク 之ニ邦則又曰

猶吾大夫崔子也違之 他ノ國ヨリ又別ノ一國ヘユキテモ國ニダレテ

君臣ノワカチナイユハ又マヲモ去ル 何如子曰

清矣 清ハ滯滯ナルヲ云乱ヲノカレテ 曰仁矣乎曰未知焉得仁 文子カマル

ハアレ尼仁トハセラレ 季文子子三思而後行 季文子ハ魯ノ大夫名ハ公父ト云文子

ストユルレ玉ハズ 子聞之曰再斯可矣 季文子ハ孔子ヨリ先ノ人ナレバ三思ノヲラツ

三思ノ思揆ヲ タヘキテ評判シモデアアルスベテ思察ヲス

子リテトリ行フ



ルニ思三ハ危キカアルユヘ再思スレバ仕損ジハナイ又ソレヲクリ反ノ三思ニ  
及ベバ私欲ノ方ニヒカレ或ハ奇貨ノ偏ニヒカルユヘ再思スレバ可ナリトノモラ  
○子曰密武

子邦有道則知邦無道則愚其知可及也其愚不可及也衛武子ハ  
名ハ俞ト云武子ガ衛ニツカヘテ文公ノ時ニ邦道アリテ政ヲタスケ國ヲオサメタルハ武  
子ガ智チヤ成公ノ代ニナリテ國ヲウシナヒ道ナキ時ニ智者ハ我ガ身ニ難義ノ來ラン

ヲラハカリ立退テ君ヲワスル中ニ武子一入忠ヲツクシ艱難ヲイトハス身ヲステヨリツカ  
ヘタルハ外カラ見レバ愚チヤカレ無道ノ世ニ君ヲ全フシ我ガ身モ恙キハ智チヤタケニ  
スルモ及ハ又処ノ愚テアル一説ニ此ノ章ハ武子カ世ニ處スルノ權オノツカラ君子ノ道ニ  
カナフヲノモフ人々ノ邦道アレバ智ナルノカタキヲ知テ道ナキ時ニ愚ナルヲ益カキ

ナスハハヤスレ道ナキ時ハ上クラク下モヘツラフテ是非分明ナラス此ノ時ニイツリ愚ニ  
マカレハハカタシ是レソノ智ニハ  
○子在陳曰歸與歸與孔子諸國ヲ周流シ道

君ナク陳國ニヨザナサル時イヨク道ノ行ハルマシキヲ知テコノ道ヲ後世ヘ傳ト思ハスニツ  
嘆アリ歸與與々々トカサ子テ云ハカヘラフト思フ心ノ深イデアアル吾黨ノ小子在簡

斐然成章不知所以裁之道ノ行ハレサルヲ知テコノ道ヲ後世ヘ傳ト思ハスニツ  
テ中道ノ士ハ得ガタキニヨリ吾ガ魯國ノ擲黨ニ歎

レヲカセラレタル門人ノ狂簡トテ心ノオホマカナルモ世事ニハ簡ノ愚ニコヒカス小節ニカ  
ハラズノ斐然成章トテソノ器量ノ外ニ発見ルベキモノカ大ニ器量ノナルウ

レタテラハ異端ヘ走リコソウナラ我レカヘリテ裁正シ  
シアゲラ道ヲツタヘテ後世ヘ殘サント云テデアアル○子曰伯夷叔齊不念

舊惡怨是用希伯夷叔齊ハ孤竹ノ國ノ二子チヤ殷ノ湯王ノ封セラレテヨリ夷  
齊ニ至ル伯夷ノ名ハ允字ハ公信ト云叔齊ノ名ハ致字ハ公達ト云

兄弟ナガラニサホノイサギヨイ人ヂヤ惡人ノ朝ニツカヘズ惡人トモノ云ハズ魯人ト立ナラシ  
冠ノユガニタルヲミテモ我ガ身ヲケカサントスルヤウニ思テ望々然トメノ望レ去ル度量

ノセバクソウケイルコノナラヌヤウナレバ惡ム人ソノアヤマチヲ改ムレハ舊ノワルカリ  
シテ少シモ念ニカケザルユヘニクニシ人モウラムルコトスナレト聖人デナクハニ子ノ心ヲ

知ルコカヤウニハアル○子曰孰謂微生高直魯國ノ人ニ姓ハ微生名ハ高ト云  
モハ直ナモチヤト云ヒフラシ

タレレ不直ナ処ガアルトソノ事ハ下キ或乞醢焉乞諸其鄰而與之アル人ガ  
アル直トハマツスグデ少シモカヲヌコヂヤ

家ニ醢ラモラヒ來タレバ手前モアリ食セズ隣家テモフテヤ切レハ不直ナシカチヤ是ラ  
是トシ非ラ非トシ有ルヲアリトシ無ラナレトスルガ直チヤト評論スルハ人ニ細行ヲツシメ

ト云フ○巧言令色足恭巧言令色ハ巧言令色ト云フヤ詞ハナラサカセ負ラ  
デアアル

ヒラタシス左丘明恥之丘亦恥之左丘明ハ孔子ヨリ前ノ人デ世ニキコエタ人ヂヤ  
ダストラ云孔子ノ手前チ心ニハツルコト古入ニナソラヘテ

一説ニ左丘明ハ魯ノ大史テ孔子ニ春秋ヲウケタル人ト云匿怨而友其人ウラニア  
ウラニアオシカクノ左丘明恥之丘亦恥之巧言令色ハ匿怨ナドノコトハ何ユヘニ

シタシニハハルヲ云カヤウニスルナレバソノ人ニ用ガマル  
ニチヤコヒヘツラフテ手前ヘ利徳ヲトラントスル心底ヲカンガヘテ見レバ察察ノ盜ヲ

スルヨリモ恥シイコチヤ學者ニソノ心ヲ直ニセヨトノ戒メデアアル

○子曰伯夷叔齊不念

舊惡怨是用希

○子曰孰謂微生高直

或乞醢焉乞諸其鄰而與之

○子曰巧言令色足恭

匿怨而友其人



顏淵季路侍

侍トハナシ御用デモナイカトソバニ居ル

子曰盍各言爾志

志

盍ハ可不ノ二字ヲコメタ字ヂヤナシハカカル処ナクメシクノ志ス処ノ

車馬衣輕裘與朋友共敝之而無憾

願トハ孔子ノ前三テノ志云云ヘ

モノデアアル表ハカワゴロモチヤ輕トハ衣服ハカロキヲタツトムユヘ輕裘ト云我レ車馬輕裘ヲ

顏淵曰願無伐善無施勞

善トモモハ我が權分固有モノニテ入トメハ善ナル善

善トスルヲナヤ勞ハ功チヤ他人ノタメニ功勞ヲアラハスハ我カハタラキチヤノオレガ手カラ

子路曰願聞子之志

子路曰願聞子之志

志トコロ我が志ス処ヨリ大ナルヲキテ聖人ノ

懷之

ケニナツクヤウニスルト心ヤスイコノヤウナレハ天下ノ人ノミシハリ老少朋友ノミツ

ヨリ外ハナイカヤウニセ子バナラヌ処ノ道理ナルユヘ天地ノ萬物ヲアテ子スルト同シ

夫子ノ心ハスナハチ仁ニシテ仁ガスナハチ心デアアル

子曰已矣乎

已矣乎

吾未見能見其過而內自訟者也

過トハ心カラオコフヌレシ

示人ハ非ラカザリテ改ムルコトヲ知ラヌ自ラ過チラ知テ我が心ニテソレヲ改メトガムルコト

子曰十室之邑必有忠信如丘者焉

十室トハ家カズ十軒ガカリ

不如丘之好學也

小邑ニサヘアルベケレバ天下ノ名

學問ヲコノミテアキ遊居セヌハ及マシトノモフハ生質ノ美ナルモノハ得ヤスク學問ヲ

學バ聖人ニ至ルデアアル

雍也第六

雍也第六

子曰雍也可使南面

雍ハ孔子ノ弟子ヂヤ南面トハ人君政ヲキクニ地ヲウシロ

仲弓問子桑伯子

仲弓ハ

夫子ニ子桑伯子ハイカヤウナ人ゾト問フ伯子ハ莊子ニ子桑戸ト云モナラシカト老子ノ學

子曰可也簡

可トハユルス詞ヂヤ至極ヨイト云テハナクワツ

子桑伯子簡ナル

子曰可也簡

可トハユルス詞ヂヤ至極ヨイト云テハナクワツ



又簡ナレバ要ヲ得ルニ伯子ガ  
簡ナルヲ可ナリトモフ  
仲弓曰居敬而行簡以臨其民不亦可

乎  
仲弓ガ精簡ニ夫子ノ可ナリト云ルモフヲウタガヒテ我ガ身ニツ敬ニ居テ内ニ主宰  
アレバ身オサマクテ嚴トスル内ヲ嚴トメ外ニ易簡ヲ行フテ民ニハソバムツカカ

ラス民ノニダルハウヘナクメ可ナルニアラ  
居簡而行簡無乃大簡乎  
大ハ去声  
ズヤト仲弓ワガ簡ヲ以テ問フ

スコレハ内外ニ簡ナルニ大簡デアル子桑伯子ガ衣冠セズノ夫子ニ逢タレバ入道ヲ  
牛馬ニ同シクスルトソシリ  
五ヒシガ家語ニアル是レガ大簡ト云モノチヤ  
子

曰雍之言然  
可ハワツカニヨイト云ルモフト云フ処ニ氣ハツカ子尼再雍ガ簡ヲ  
論スル処ソノ意ヲ得タルユヘ然リトモフ然リトハソウチヤト

○哀公問弟子孰爲好學  
哀公孔子ニ問フ諸弟子ノ中ニテ  
誰レカ學問ヲコノムモノトスル  
孔子對

曰有顏回者好學  
顏子ノ死後ノ一ニテ  
不遷怒不貳過  
遷ハ移ナリト  
注メ怒リヲウ

ツサヌトハ怒ルベキモノヲイカリテ他ヘウツサヌトチヤ喜怒ノ己カラオコラヌヘテアル怒  
ルベキヲ復ガ方カラシカケルユヘソノモノヲ怒リ外ノモノハ怒ルベキナキニイカリテ

ウツサヌハ克己ノ工夫ノキビシイニチヤ腹ノ立ツニ怒チイ家内中ヲシカルナド云フハ人  
ノレワザデアアル貳ハカサヌルチヤ改メテマセヌヲ云過アル時ハ改メテカサヌ又デアアル

不幸短命死矣  
不幸ハ顏子ニ三ニテ死ス命ハ天命チヤ  
短命ハ三チガイ天命ト云フデアアル  
今也則亡  
亡ハ死又ハ  
云フ

未聞好學者也  
顏子ヲフカクオシシテ  
○子華使於齊  
子華ハ魯  
子公西赤ガ

子公西赤ガ  
子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ

子公西赤ガ







入リ玉ハズ曰亡之 夫子曰ヨリ伯牛が手ヲトリテ天命矣夫 天命ナレバセシ方モ

詳ニ斯人也而有斯疾也斯人也而有斯疾也 斯人ハ伯牛ヲサス天命ナレバ

牛ニカクノ如クナル惡疾アリテ死シ ○子曰賢哉回也 顔子ノ德行

一簞食一瓢飲在陋巷 簞ハ竹ニツクリタル器ノ名ニテ食ハイヒヤ糲ハヒラ

貧ナル人不堪其憂 回也 不改其樂 顔子ハヨイウツワモ

賢哉回也 賢哉回也 賢哉回也 賢哉回也

力不足者中道而廢 力不足者中道而廢

今女畫 今女畫

子夏曰女為君子儒 子夏曰女為君子儒

無為小人 無為小人

子曰女得久焉爾乎 子曰女得久焉爾乎

子曰孟之反不伐 子曰孟之反不伐

曰非敢後也馬不進也 曰非敢後也馬不進也

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐

○子曰孟之反不伐 ○子曰孟之反不伐



有祝鮀之佞祝鮀名也而有宋朝之美宋朝名也

曰誰能出不由戸誰能出不由戸何莫由斯道也誰能出不由戸

子曰夫知也道夫知也道テアル人ノ戸ヨリ出入スルハガタキコトヲツトメテスルニアラズ道ニ

勝文則野勝文則野質トハスナホリノナイコトハ礼義ノアヤアルヲ云入ノモイヒ身ノ

質則史質則史史ハ文書ヲツカサドレモノ礼ヲシリ事ヲシルヲオモニ誠實ニ文質彬彬然

君子君子彬々相シハリテヒトシキヲ質バカリゲテ文ナケレバ野人ノ風トナリ文アリテモ

○子曰人之生也直人之生也直人ハ天地ノ生カスル処ノ道理ヲツケテ生ルユニ

免免罔トハ邪曲ノコト正直ヲレ井オサユルヲ云元來ニツスクナモノヲムリニ井オサヘテノヒタマヤクニ

子曰知之者不如好之者知之者不如好之者知之ハコノ道ト云クアルト云

コノ道ニテ手コノ道ニテ手好之者不知樂之者好之者不知樂之者樂之ハ學問ガ事ニ入テオモレクナリ

ラスメモフ外ラスメモフ外○子曰中人以上可以語上也中人以上可以語上也

性命ノ微ナク神化ノ妙ナルノ類デアル中人以下不可以語上也

ユカヌ退屈ガクルノレニオラス學問ガ増モナクナリテ成就セヌレハ人ノ高下ニヨリテ

テ教ホドコサレモノデアルオレテ施スキモノハ上ノ中ヨリニモ下ノ中ヨリカニテ七人ヤ中人ハ上ニ

ノ中デアレ

民ハ人ト云ニ同レ義ハ當然ノ理トアルハソウセ子ハナラヌ外ノ事ニテアル云

鬼神鬼神理ハ幽微ナルコトニテハカリガタイモノナレバ智者ハ敬メナレケガサヌ遠

ヲイノリ問フハラフ可謂知矣可謂知矣コトヲノコト合点問仁者先難而後

獲獲仁者ハスキ処テタリテハ何ホトモタク勸勞ナルコトヲモイサニテスレバ此コトヲオントケタ

トゲバコレドノ祿ヲ得ルテ可謂仁矣可謂仁矣上ニアル如クナル仁者ト云ハルノアアル仁和ノオコトヒ

アラフト思ハウキヲ後スルズイ

士

上



○子曰知者樂水 智仁ハ内ニ得タ処ノ徳ニテツノ余ヲ外ニテラハルハ外ヲサバニ形容ノモトキツクサレヌ意アルヲニ段ワケテサトシテフ智者ハ事理ニ通達シテ

似タルヲアルヨリ水ヲ子ガゴム 仁者樂山 仁者ハオウツカラ義理ニ安シオチツイテイルニヘカレコエウツサレ山ノ安鎮ニ似タルヲアルヨリ

知者動 智者ノ心ハ物ニトコホラス活動シ仁者靜 仁者ハ人欲ミカレズ外物ニ安シ

知者樂 智者ハウゴイテホスホレ 仁者壽 仁者ノ性シカナル山ノ安鎮ニ似タルヨリテ壽考デアル ○子曰齊

一變至於魯 周公ヲ黜封レト公ヲ營封セラル由阜ト云ハ魯國ニテ營丘ハ魯國デアアル

少シキガアリソレニ未代ニ至テ齊ハ景公ノ如キ開啓アリ魯ハ定公ノヤラナク魯ノ

君アリ然レモソノ國ナラ古ノ遺風アリ夫子モ吾魯ヲスレ何カユカントノ王ヘリコレ魯ノ余自ニ

モレ齊ニ明君アリレ變モ魯ノ太平ノ月如クテ得 魯一變至於道 魯ヒトクハ先王

ノ道ノ行ハル ○子曰觚不觚 觚ハカド訓ノウツクモノカドヲ云ソノ制ヲウレテハルヲナゲキ

レスト云フ意デアアル又ノ説ニ京サカツキノ一テ今ノ人用テ花瓶トス腰ニヒレアル銅器 觚哉

觚哉ノモフヤウナレ天下ニアルモノカクノ如クデアル君ノ道ヲウレテハ君ナラス臣ノ臣道

ヲウレテハ魯位デアアル人トナレ仁アラバ ○宰我問曰仁者雖告之曰井有仁焉

人ニテナク國モオヤラバ國トセラレヌ

其從之也 有仁ノ仁守ヲ人ノ守ニシカヨイ宰我が思フニハ仁者トスニハ人ヲ交スルニ

ウタガヒコノ問ヲモシケルチアル仁者ニ井ノ中へ人ガツイテイルト告ラヌモノアラハ

是ラスクハタニ我ガ身ノ溺死スルカリニ井中ニ入ラスクハカトコト道信アリ 子曰何

爲其然也 然ハソウヂヤト云フ 然レトヨメバソウヂヤイト云フニナル仁者 君子可逝

也 仁者ノ君子ヲハ井ノ中ニ入ラズバ 不可陷也 同シヤウニ井ノ中へトモ救フコトスバ

ユカメテ救フ思案ハサスベシ 不可罔也 實モナイニ井タラニ

ナルコトハ ○子曰君子博學於文 天下ニアラユ書籍ヲヨミ古人ノ云ヒ置タル詞身ノ行ヒコノ

ナイ 世カクノ如クテオコリカクノ如クニ 約之以禮 約之トハツマメルコトチヤアアタノ書物ヲニル

ホロビタリト云フヲ考ヘレラ子バオフマ 約之以禮 中ニハ種々ノコトアリテ人々ノ身ノ行ヒモカク

アリテ一樣ナラス彫識ノヒロクナリタルヲ 亦可以弗畔矣夫 如クテ道ヲムクコトアルニ

ツメテ先手定置ヒカキカク身ヲ入ラズ 萬世不易 ○子見南子 南子ハ衛ノ靈公ノ夫人ニテ 衛國ノ人チヤ古ハソノ國ニ住ルモノハソノ

コトアル 非ナク 子路不說 孔子ノオアヒナサル 夫子矢之曰予所否者天厭之天厭之 矢ハ

詔タテラスルコトチヤ否ハ礼ニ合ハズ道ニヨラヌヲ云聖人ノ道ハ廣大ナルユヘイヌ又チ日月ノ差別ナクテアルコトチヤ



ダニル子路ダク。○子曰中庸之為徳也其至

矣乎。中、過不及ナキノ稱ト注ノスキモセズ。中庸ハ平常ナリトナルハ、

後世ニ至テハ民ニコノ徳アルニスクナキ。○子曰若夫博施於民而能濟衆何如可

謂レ仁乎。子曰何事於。○子曰若夫博施於民而能濟衆何如可

仁乎。子曰何事於。○子曰若夫博施於民而能濟衆何如可

必也聖乎。堯舜其猶病諸。子曰何事於

夫仁者己欲立而立人己欲達而達人。○子曰若夫博施於民而能濟衆何如可

能近取譬可謂仁之方也已。○子曰若夫博施於民而能濟衆何如可

能近取譬可謂仁之方也已。○子曰若夫博施於民而能濟衆何如可

能近取譬可謂仁之方也已。○子曰若夫博施於民而能濟衆何如可

四書國字辯論語卷三

四書國字辯論語卷四

述而第七。○子曰述而不作信而好古。○子曰述而不作信而好古

子曰述而不作。信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古

信而好古。○子曰述而不作信而好古



ソクニタツ子トヒ吟味ノアキマ 聞義不能徒 処ラステ、從フヲ徒ルト云夫子ニツカラ学ヲ

講習スルヲナラス義ヲキ、テモ徒ル 不善不能改 我が身ニ不善ノヲアレバスミヤカニヤメ

是吾憂也 上ニアル四ツノヲヨクセザルヲウレトシモフト ○子之燕居 燕居ハ朝ヨリシリシ

形容ノ会々モヤシクハニアル 申申如也 申カカチノノヒノトシタ 大夫如 大夫ハ容色ノ

衰也 夫子ノワカイ時カラ周公ノ道ヲ行ヒ天下ノ民ヲスハント思ヒソノ徳ヲ 久矣吾不復夢見

周公 二モハヤ道ノ行ハルニシキヲレリモヒテノチハコノ子ヲニヌル今 ○子曰志於道 志ト云道

人トノ日用ノアイダ行ハデカナハヌ処ノモノデアルコレヲ知テ心コレニオモク時ハソノユク 據於徳

據ハトトリ守テウレハヌヲヂヤ徳ハ得テ字ノ意デ道ヲ行フテ心ニ得ルヲ云 依於仁 依

ノ心ニ得ル処ヲヨクイリ守テウレハヌトキハ始終一定ノカラス日々ニ新ナルノ効アルヲ云 游於

藝 遊ハトハ物ヲモテアツクニ情ヲナフルヲヂヤ藝ハ礼樂ノ文射御書數ノ法ニ至理ノヨル処ヲ日用

ノカクカラザルモノ行フテ余カアルイタツラニセズ藝ヲクテ義理ノオモキヲヒムルニ用ニ應ズル事

タリテ心モトハナシニナラス内外 子曰自行束脩以上吾未嘗無誨焉 束脩ハ脩ハ

至テカロキモノナレハ誠ヲ以テ來リニテフトキハ教スト云トナレサレ來テ学ハザル往テオシユルノ礼

ナレモ束脩ノ礼ヲ行フヨリ以上ノ來リ ○子曰不憤不啟 憤ハ学者ノ心通ゼンヲ思テ

アル学者オシヘラウクル質地ナケレバ時雨ノ穰ナキ地ニクダレ 不悱不發 悱ハ口ニ云ハ

イヒ得ヌヲ云ソノ人道理ヲイハント思ヘバ 舉一隅不以三隅反則不復也 隅ハスミニテ家ニ

ノスミヲ知レバ余ノスミハオソツカラレル、通リゲ学者ノ憤悱ヲ ○子食於有喪者之

側未嘗飽 夫子喪アル家ノカタハラニ食シ玉フトキハ 子於是日哭則不歌 是日トハ

タル日ヲ云哭ハカナレミノ至リ夫子人ノ喪ヲ吊タル日ノ内ハ哀イニダワスレザルユウタマウタ

養ハ忠厚ノ心ヲ ○子謂顔淵曰用之則行舍之則藏 聖人ヒロク世ヲスクウ心切ナレ

是夫 顔子ヲヨクスルモノハタダ孔子ト顔子トバカリノヂヤトユルシ玉フ 子路曰子行三

必ストル処ニラス用ヒラル、時ハ出テ、道ヲ行ヒスラ、時カクテヒリ道ヲ多ク 惟我與爾有

是夫 顔子ヲヨクスルモノハタダ孔子ト顔子トバカリノヂヤトユルシ玉フ 子路曰子行三

必ストル処ニラス用ヒラル、時ハ出テ、道ヲ行ヒスラ、時カクテヒリ道ヲ多ク 惟我與爾有

是夫 顔子ヲヨクスルモノハタダ孔子ト顔子トバカリノヂヤトユルシ玉フ 子路曰子行三



軍則誰與

天子ハ六軍大國ハ三軍小國ハ二軍軍トハ萬二千五百人ヲ云夫子ノ顔淵ヲ

將帥トナリ王ヲナラバ必ズ吾トトモニ

子曰暴虎馮河死而無悔者吾不與也

手ニテ虎ニ向フヲ云馮河トハ船ナクノ川ヲカチワタリスルヲ云虎ニ向フニハ矢ヲ下ドテ用立息レ大  
河ヲワタルニハ舟ヲ支度スルノナルニ血氣ニカセカチテ虎ニカヒ大河ヲカチワタリノ無益ノ死ヲスル  
ヤウナルモノニハ必也臨事而懼好謀而成者也

勇ヲコノムヲオサヘンタメニ至フ詞

子曰富而可求也雖執鞭之士吾亦爲之

執鞭ノ士トハ周禮ニ出タル鞭ヲトリテ人ヲムラフ役人ニテサキハラヒテアル王ニハ八人公ニハ六人侯伯三四人  
子男二八人凡貧富ハ三ナ天命ナレバ求テ得ラレモモヤモ求テ得ラレモノナラバ執鞭ノイヤレキ  
役ナリトモ辭セズノ是ヲ

如不可求從吾所好

子曰之所慎齊戰疾

我カ身ノ存亡ワカ身ハ父母ノ遺體ナルユトワケテ大切ニスル  
一、チヤコノ章夫子モツ子ニ慎ミ至フ処ナルユ門人ノ記シ置タルモノデアル

子曰在齊聞韶三月不知

肉味

肉味ノヨシヲオボヘトハス

曰不圖爲樂之至於斯也

韶樂ノ美ナルヲホド

聖人ニアラスバカクノ如クナラヤト

○冉有曰夫子爲衛君乎

爲ハ助ノゴトトシテカスルト訓ス

崩躓ガ子ノ輒ヲ立テ國君トス後ニ晉人崩躓ヲ衛ニ入トスルニハ輒コシラヘレシト兵ヲツカハノフセキ  
父ノ崩躓ヲ拒ギ

子貢曰

子貢曰

吾將問之

叔齊何人也

叔齊何人也

又何怨

曰怨乎

曰求仁而得仁

子曰飯疏

輒ガ不孝ノ罪ハ分明デアル

出曰

夫子不爲也

子曰



食飲水コレヨリ下ニ句ハ貧ヲタノシムコトヲ云テ手前ノ志モコメテアル 曲肱而枕

之鑄金ヲ用ヒスノ 樂亦在其中矣道ヲタクシテ志ヲ外ヘウツサズ 不義而富

且貴於我如浮雲夫子ノ不義ノ富貴ヲミタシテ浮雲ノ定リナキガ如クアルカト

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣加假聲近キ

子曰所雅言詩書執禮皆雅言也雅ハ常ト注フツ子ト

子曰加我數年五十以學易可以無大過矣加假聲近キ

子曰所雅言詩書執禮皆雅言也雅ハ常ト注フツ子ト

子曰所雅言詩書執禮皆雅言也雅ハ常ト注フツ子ト

子曰所雅言詩書執禮皆雅言也雅ハ常ト注フツ子ト

子曰所雅言詩書執禮皆雅言也雅ハ常ト注フツ子ト

子曰所雅言詩書執禮皆雅言也雅ハ常ト注フツ子ト

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ

子曰女奚不曰其爲人也發憤忘食樂以忘憂不知老之將至云爾其爲人トハ



亦ニナコレヲ師トスベキナリノ書ニ云ク能ク自ラ師ヲ得ル者ハ貴シト然レバワレ自師ヲ取リ得ルヲ以テキトスベシモレツ善ヲナシ惡ヲ改メント期スルノ念ナクハタダ不善ヲ見テ改ルヲアタカサルノニアラス日々ニ善人ト共ニ居ル亦コレ從フヲアタハシ況ヤ同行ノレバラクヲヤ朱子ノ云ク人モレ自修ルヲ以テ心トスル時ハ天下ノ萬物ヲアゲテ凡ソ前感スルヲアル者ワガ義理ノ正キヲ發スルニタラス

○子曰天生德於予桓魋其如予何 桓魋ハ宋ノ司馬ナリ夫子宋ニト云フナシ

○子曰二三子以我爲隱乎吾無隱乎爾 二三子トハ諸弟子ヲヨビカケテノ詞ナリ諸子夫子ノ道高妙深遠ニハナハダ及ヒガタキヲ見テソレカクレテアラハサル歟アルカト疑フコト聖人ノ動靜語默ニ

○子曰吾無行而不與二三子者是丘也 吾ハツ子ノノスル歟一ツトノナシテラニアラハレ示サスト云フナキ者ナリ此外ニ何カア

○子曰子以四教文行忠信 夫子ノ入ヲ教ルニ文ヲ学ヒ行ヲ修メテ忠信ヲ存スル四ツノ者ヲ以テス忠信ハ其モトヒナリ但忠ハ實心信實

事首啓表表ハ如シニ記ナレハ此理ヲ心根ツケテナリ孔門ノ教博文約礼ヲ以テ手ヲトシ功ヲ用ルノ常法トス文ヲ学ブハ博文ナリ行ヲ修ルハ約礼ナリ此ニツノ者又忠信ヲ主トセザレバ知ル歟ニテ虚見ヲ行フ歟ニテ虚文ナリヨリテ

○子曰善人吾不得而見之矣 此章世々タリテヨキ人ノマレナルヲ嘆ケリ得見君子者斯可矣 君子ハ才徳衆

○子曰有恒者斯可矣 有恒トハ其心ヲニツキモソカハラザル義ナリコレ亦才徳衆

○子曰泰難乎有恒矣 泰難トハ其心ヲニツキモソカハラザル義ナリコレ亦才徳衆

○子曰子釣而不綱 綱トハ網ノ綱トシテ

○子曰不射宿 射トハ射トシテ宿トハ宿トシテ



レ至ハズコレ仁人ノ本意ヲ見ツベシノ物ヲケルカクノ如クナレバ  
○子曰蓋有不知

而作之者我無是也  
云意ハ蓋レ世ニ其理ヲ知ラズノ事ヲ作ス者モアルベシ我ニヨリ  
テハコノノナシトコレ人ニ知識ヲ求メテラズメ又妄作スルヲ戒メ

見而識之知之次也  
聞クト見ルトハ互ニ相通ズツト從フハヨクエラフヘキ故ニ善ヲエラフト  
ナキ時ハソノ理ニライテ知りテハコト云フナキヲ見ツベシ  
多聞擇其善者而從之

互郷難與言  
互郷ハ郷ノ名ソノ郷ノ人  
ニナ不善ニテラヒテ共ニ善ヲイ

童子見  
アル時互郷ノ童子來リテ  
門人惑  
諸弟子夫子ノコレニアヒモフ  
子曰與

其進也不與其退也唯何其人潔已以進與其潔也不保其往也  
此段疑  
簡アルベシ人潔已ト云ヨリ程ヲ與其進也ト云ノ前ヲキテ見ルベシ潔已トハ進見ヲ求メタメニ  
其身ヲオサメトノヘテツクシメルヲ云保ストハ俗ニウケアフト云義ナリ往ハ前日ナリ云意ハ人モ  
レ已ヲオサメテ以テ進來スレバ其オサムルハ必ズ善ニシテ保伴ノコレニアラフ  
ラズ又今進來ノ一見ヲユルノミテ退田ノ後不善ヲスルヲモエラフニアラフズトナリ唯ノ  
字ノ上下ニモ亦疑フクハ闕文アラシ天抵已甚キヲセザルノ意ナリ此句上ヲウケテ云然ルニ今ノ一  
見ヲモエラフハ其將來ヲムカフスコノ心ヲ以テ至レバ  
○子曰仁遠乎哉  
仁徳得カタキ故ニ  
遠キ者トスレ

我欲仁斯仁至矣  
仁ハ人心ノ徳ニテ外ニアル者ニアラス故ニ  
遠キ者ト思ヘリモ我ソノ身ニ反リ自求メテ求ムル故ニ

敗問昭公知禮乎  
陳ハ國ノ名司敗ハ官ノ名陳楚二國ニハ司敗ヲヨシテ司敗ト云ナリ昭  
公魯ノ君名ハ稠昭公礼ヒリト云名アルヲ司敗信ゼサルニヨリテ夫

孔子曰知禮  
昭公威儀ノ礼節ニ習ル  
孔子退  
其席ヨリ  
揖巫馬期

子亦黨乎  
君子ハ孔子ニテイヘリ黨ストハ  
君取於吳為同姓謂之吳孟子

君而不知禮孰不  
君ハ昭公ヲサスコレ昭公ノ礼法ニソムキタルヲアグ周ノ礼同姓ハ百世婚姻ヲ通ゼス魯ハ周公ノ後  
吳ハ泰伯ノ後ニノミナ姫姓ナリ然ルニ昭公吳女ヲメトレリ稱ノ吳姫ト云ベキヲソノ礼ヲ犯セル  
ヲライニコレヲ吳孟子ト云テ宋女子姓ノ者ノ如クナラシムニ説ニソノカミ  
魯人ハ只孟子ト云バカリナルヲ吳ノ字ヲツケタルハ世ニコレヲソレテ云シトナリト

有過人必知之  
人ノ過ヲカサレバアラタメズグクハ幸アル者ナリモレアセシツアレハ  
必コレヲシリテワレスナキコレヲ聞フヲ得トゾコレワレ君ノ惡ヲイミテアラハ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ  
巫馬期以告  
司敗ガソレリヲ  
子曰丘也幸苟

知禮  
レカ礼ヒラストセラル者アラントゾ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ  
巫馬期以告  
司敗ガソレリヲ  
子曰丘也幸苟

有過人必知之  
人ノ過ヲカサレバアラタメズグクハ幸アル者ナリモレアセシツアレハ  
必コレヲシリテワレスナキコレヲ聞フヲ得トゾコレワレ君ノ惡ヲイミテアラハ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ  
巫馬期以告  
司敗ガソレリヲ  
子曰丘也幸苟

有過人必知之  
人ノ過ヲカサレバアラタメズグクハ幸アル者ナリモレアセシツアレハ  
必コレヲシリテワレスナキコレヲ聞フヲ得トゾコレワレ君ノ惡ヲイミテアラハ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ  
巫馬期以告  
司敗ガソレリヲ  
子曰丘也幸苟

有過人必知之  
人ノ過ヲカサレバアラタメズグクハ幸アル者ナリモレアセシツアレハ  
必コレヲシリテワレスナキコレヲ聞フヲ得トゾコレワレ君ノ惡ヲイミテアラハ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ  
巫馬期以告  
司敗ガソレリヲ  
子曰丘也幸苟

有過人必知之  
人ノ過ヲカサレバアラタメズグクハ幸アル者ナリモレアセシツアレハ  
必コレヲシリテワレスナキコレヲ聞フヲ得トゾコレワレ君ノ惡ヲイミテアラハ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ  
巫馬期以告  
司敗ガソレリヲ  
子曰丘也幸苟

有過人必知之  
人ノ過ヲカサレバアラタメズグクハ幸アル者ナリモレアセシツアレハ  
必コレヲシリテワレスナキコレヲ聞フヲ得トゾコレワレ君ノ惡ヲイミテアラハ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ  
巫馬期以告  
司敗ガソレリヲ  
子曰丘也幸苟

有過人必知之  
人ノ過ヲカサレバアラタメズグクハ幸アル者ナリモレアセシツアレハ  
必コレヲシリテワレスナキコレヲ聞フヲ得トゾコレワレ君ノ惡ヲイミテアラハ

昭公トナリテ礼知レリト云世ニタ  
巫馬期以告  
司敗ガソレリヲ  
子曰丘也幸苟

有過人必知之  
人ノ過ヲカサレバアラタメズグクハ幸アル者ナリモレアセシツアレハ  
必コレヲシリテワレスナキコレヲ聞フヲ得トゾコレワレ君ノ惡ヲイミテアラハ



サズ尼ノ五ハズ又同姓ヲメトルヲ以テ礼レリトセラレザル故ニソレヲウケテワカ過チトシモルナリ○吳氏オモクラク魯ハ夫子ノ父母ノ國昭公魯ノ先君ナリ司敗又其事ヲアラハサズノ只礼知レリヤト問ケル故ニ夫子ノ答五フ吸ムナリ司敗黨スルアリヤト云ニ及ンデ直ニウケテ過トス而亦ソノアヤミル故ヲ辨ゼスコレ其盛徳時ニ中ノ可ナラズト云吸ナレトニ以テ萬世ノ法トス

○子與人歌而善曲優柔平中ニメヨケレバツ必使反之其入ヲノ又ヒトリウタセテカノヨキ吸ヲ以フサキ

而後和之ルヲヨコビ又人ノヨキヲタスケテイヨクスモモルナリ○此章聖人ノ氣

○子曰文莫吾猶人也文ハ言語ノアヤナセルヲ云莫ラシカトハ疑フ詞吾猶人トハ

有得相相也有得ト相ヨビ躬行君子則吾未之有得躬行君子トハ君子ノ道ヲ一タコレヲ身ニ体シセラ

○子曰若聖與仁則吾豈敢抑爲之不厭誨人不倦則可謂云爾已

矣抑トハ上文ヲカノ下モウツルノ詞ナリソノ爲フト誨ルモ亦仁聖ノ道ヲ學ビ教ルナリ

○子曰正唯弟子不能學也即此トコヲコソ弟子タル者ノ學フアタハサル吸ナレトゾ蓋シ夫子ワレハ仁聖ノ道ヲ學ビ教ルガカリントノ五

○子疾病病トハ疾ノオモ子路請禱鬼神ニ子曰有諸問カシモ子路自其理ヲ察セテ欲メナリ子路對曰有之

子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫

○子曰丘之禱久矣子路夫



然ラスト云フナキ意ヲバ丘ガ禱ルコト久シトノモフ然レバ今コトサラニ又禱ルキヤウモナレトノ意ナリト此説長セルニ似タリ本註ニ孔安國ガ説ヲトシ

○子曰奢則不

孫不孫トハホレイマテ儉則固儉ハ儉約ナリ固シトハ與其不孫也寧固奢ハ及ハ

○子曰君子坦

蕩蕩坦トハ心体ノヤスラカナルヲ云蕩々ハユタカニモロキ見ナリ君子ハ只道理ニ小人長戚戚小人ハ

長トハ常久ノ義戚々ハウレヘイタムナリ小人ハ外物ニツカハルハ故ニ時トノ得失ヲハカラスト云フナレヨ

○子曰温而厲威而不猛恭而安温トハ顔色ヲ以テ云威アルト恭キトハ一身ヲ

ナルト不猛ト安キトハ各其中ヨリウハシク見イダレテコレヲイヘリ凡ソ人ノ徳性モトソナハラスト云

ナレ然レモ氣質ノシク弱人ゴトニ偏ナリ只聖人ノ陰陽徳ヲ合セテ其質偏ナラス全體渾然

○子曰其徳カ子ソナハルヨリテ中正和順ノ氣ヲツツカラ容貌ノ間ニアラハルコトカクノ如シ門人ツ

サニソナハルニ詳ニコレヲ記セリ亦ソノ心ヲ用ルコト鎮密ナルコトヲ見ツベク抑知以テ聖人ヲ知

タリテヨク徳行ヲ云者ニアラスコレヲ記スアタハジコノ故ニ程子オモヘラク曾子ノ言ナラシク

ヨシク及復ノ心ニモテアツブベキ歟ナリノ或ハトフ此章ハコレスベテ聖人ノ容貌ヲ云郷黨ハ

コレ事上ヲ逐テ説キヤ

不也朱子ノ云ク然リ

### 泰伯第八

子曰泰伯其可謂至德也已矣泰伯ハ商ノ時周ノ君古公亶父ノ子ナリ古

次ハ仲雍次ハ季歷ソノカミ商ヤクヤクニオトロヘテ周日々ニ強大ナリ季歷又子昌ヲ生テ聖

徳アリヨリテ太王商ヲホボシ周ヲオコサンノ志アリ泰伯君臣ノ常道ヲ守リテ其志ニ

タカハス太王ツイニ位ヲ季歷ニツタヘテ孫昌ニ及サントス泰伯コレヲ知テ弟ノ仲雍ト共ニガレ去

荆蠻ニユキテカヘラスコニライテ太王スナチ季歷ヲ立テ國ヲツタヘ昌ニ至テ天下ヲ三分ノ

其ニツラタモツコレヲ文王トス文王崩ノ子發立ツ遂ニ商討ヲウチテ天下ヲタモツコレヲ武

王トス此章夫子泰伯ヲ贊美ノ至徳ト云其徳至極ノサラニ加フベキナレトナリ義ハ下文ニ

見ヘタリ其トハ必然ノ詞ニ矣トハ他

ナキノ詞至徳トハ三サリナレトナリ

三以天下讓民無得而稱焉三タヒ讓トハ只カ

三ノ字ニ大ツムベカラズ讓ト云モ只トラスメノガルナリ民ハ只人ナリソレ泰伯ノ徳ヲ以テ位ヲ

ツギ商オト只周サカナル時ニアタラバヨク諸侯ヲスベ天下ヲタモツニタシ然ルニコレヲト

ズメノガルハコレ國ヲユヅルトイヘ厄実ハ天下ヲ以テユヅルナリ又臣君ノタメニ六祀スフアリテ隱

スナレヨリテ武王商ヲウツ時ハ伯夷叔齊君臣ノ大義ヲ以テアラハニ諫ルコトヲ得タリ泰伯ノ

太王ニシタガハサル其心ハコレニトナラザレド父ノタメニハカクスフアリテアカスナキ故ニ只太王

病ニタメニ樂ヲ採ルトテノガレ去テ其跡ヲアラハサスヨリテ人只其實ハ季歷ニ位ヲユヅレルト知

ルノミナリ其ツリノ天下ニアヅカルコトヲ知テ得テコレヲ稱美スル者ナレコトヲ以テコレヲ至徳ト

イヘルナリ此事夫子ニアラザレバ後世ナガク知ルコトナキヨリテコトサラニコレヲ至ルナルニ

○子曰恭而無禮則勞恭ハ善行ナリトイヘ礼節ニカナスノスグル時ハ

無禮則蕙蕙トハ物ニラチ勇而無禮則亂乱トハ上ヲカレ

直而無禮則

○子曰

○子曰

○子曰



絞トハ緊急迫切ニシテ君子篤於親則民興於仁君子ハ上ニアル人ヲリス君子ノ親族ニ恩愛ヲアツク

スレバ下民下民己レ感ノホ故舊不遺則民不偷故舊ハ朋友臣屬ノヲルキヨシニアル者ヲ云フソノ舊好ヲワスレズメナガクテ

ヲ別ニ章トスベシ曾子ノ言ナラントトコトニ其文義上ト相ウチズノ曾子ノ曾子有疾慎終追遠民德歸厚矣トイヘルニ意相類ス吳氏ノ説然ルベシト集註ニモイハリ

己疾オモリテ召門弟子曰啟予足啟予手手足ヲオホヘル食ヲヒラカセ身体ヲ死セトスル時ナリ

詩云戰戰兢兢如臨深淵如履薄冰詩ハ小雅小奧ノ篇ノ詞戰々ハ恐懼ノ義兢兢ハ戒慎ノ義曾子身ヲ保ツ

ノカタキヲイハントテ此詩ヲ引チイヘラクワレ常ニ戒慎恐懼ノ身ヲ守ルル深キ淵ニシテオチンラソレ薄キ氷ヲフンデオチイラソラソルル如クノトナリ而今而後

吾知免夫今死ニゾム時ニテニカクノ如ク戒懼ノ而ノ後ニ小子小子ハ即門弟子ナリステ

ヲヨビカケテクリカヘシ子子ノ意ヲ知ラセリソノ門人ヲサトセル意深切ナリ凡ソノ人ノ子タル者父母ニウケタル身体ヲソコナヒテフラスノヲハルルトコトニコレカタシ況ヤソノ行実ヲケガレテ親ヲハツカシメザルヲラヤモレ行実ニキズツケルヲアラバ臨終ノ時身体全キノミヲ以テ人ニ示シテ教ヘトセラレバケニヤサレド古人ノ學ハ内外一致ナリ外ヲ云時ハ内スナハチ其中ニアリ更ニ心ヲ

云フヲタズ曾子ノ手足ヲヒラカセラレタルハ其行ニカクルナキ上ニテノト知ルベシ

曾子有疾義上章ノ如シ孟敬子問之

孟敬子ハ魯ノ大夫孟孫氏各ハ捷敬ト謚ス孟武伯ガ子ナリ曾子ノモトニユキテ其疾ヲトヒウカフ

曾子言曰言ハハワガ方ヨリイヒ出ス鳥之將死

其鳴也哀鳥ハ死ヲラソル故ニ死ナントスル時ハ其ナクコエ哀ム人之將死其言也善人ハ萬物ノ靈ナリヨリテ死ニゾム時

君子所貴乎道者三君子ノ所貴乎道者三ト云フ容貌斯遠暴

慢矣容貌ハ一身ノカタチヲスベテ云コラウゴカストイハレヅニルヲモカ子タリ暴ハ粗草ナル義テリ慢ハホシイマナルズ斯コレ遠ルトハワヅカニ容貌ヲウゴカストアレバナチ暴

正顔色斯近信矣顔色ニ心ヲツケテトシテスベシトナリ下ノ句義ニテコレニ同ジ

出辭氣斯遠鄙倍矣辭ハコトバ氣ハイキツカヒナリ辭ハ信実ナル方ニチカツキ外ヲイツハリテ心トトスヘカラス

信實ナル方ニチカツキ外ヲ出辭氣斯遠鄙倍矣辭ハコトバ氣ハイキツカヒナリ辭ハ

云鄙ハ俗ニイハレ倍ハ理ニソムクナリ物云ハハ則鄙倍ニトラザカリテ必興雅癈正ナルベシ此ニツハ

皆コレ身ヲ修ルノ要政ヲスルノ本學者常ニ省察ノ存養スルニ間斷ナカレベシ亦コレ内外一致

ノ工夫也

籩豆之事則有司存籩豆ハミナ祭礼ニ供物ヲモル器ナリ有司ハ役人存ストナケレ其分際ヲ云時ハ君子ノオモニスル上ニミニアリ

曾子曰以能問於不能能ニコレ曾子顔子ノ徳ヲノベテイヘリ能トハ學力ノ至ル所ヲ以テ云顔子ノ心義理ノキハリ

能ナキトナリ知人我ノ如テナレヨリテステニ能スルヲモナラ心ニミタザル所アル故ニコレヲキ

四書國子粹論卷二 五



ハメントノ人ニトヒカクルヲ或ハ己ガ能スル  
以多問於寡  
ソノ學ビ得ル疾ステニ多シトイヘ  
ナラツクサバクサバクアハル故識ル  
クナキ人ニモ  
有若無  
ガ能ヲ以テ不能ニ  
トフコトカササトク  
實若虛  
多ヲ以テ寡ニトフコトカササトク  
一説ニ能スルト多キトラス  
亦コレヲトモリ  
有若無  
トフコトカササトク  
實若虛  
一説ニ能スルト多キトラス  
ノ云時ハ有ナリ  
虚ニ對シテ  
時ハ  
犯而不校  
ハ非理ヲ以テ我ヲ犯セモ其心ウゴカズ  
昔  
實ナリ不能ト寡トハ無ト  
犯而不校  
是非曲直ヲハカラスコレ亦人我ノ  
ハカテナキナリ  
昔

者吾友嘗從事於斯矣  
昔者吾友トハ顔子ノ死後ニハナリ嘗從事於斯矣  
ツトメ行ヘル嘗テニナ此道ニシタガヒテ歴ワタリツル  
リ○程子オモヘラクハノ犯スルモ校ルベキ  
大事ナラバ理ニシタガヒテコレ應ズベシト  
○曾子曰可以託六尺之孤  
此章大臣ノ  
託クルトハタノニラク義ナリ六尺トハ周禮ニ十五  
男子ヲ云六尺ハ今ノ四尺餘ナリ孤ハ父ナキノ  
稱云意ハコニ人ノ臣アラニ其オ先君ヲ守スル時幼君ヲモリ  
タテ其身ヲタモチ其徳ヲナスコトヲ  
以テ遺託  
可以寄百里之命  
寄スルモアツケラク義ナリ  
百里トハ諸侯ノ大國ヲ云其  
セラルベキ  
一地方百里ナレバナリ命トハ政教號令ヲ云コレ亦上ノ遺託  
ノ上ニ加  
臨大節而不可奪也  
大ナル節義ニツクモ死ヲ以テコレヲ守リテ人ニハレワ  
テナリ  
舊説ニハ大節ヲ大難トスナラ  
君子人與君子人也  
君子ハオ徳カチツナハルノ稱  
ナリ與ハ疑フ詞也ハ決スル  
詞云意ハカヤウノ臣ハ君子タルハ歟  
君子タルハナリト問答  
詞ヲウケルハフカク其必然タルコトヲアラハセルナリ  
○曾子曰士不可

以不弘毅  
弘ハ徳量ノユタカニヒキ  
毅ハ節操ノカタクツヨキ  
士不可  
九ノ人ト名ヅクルカラハ弘ニノ又榮ナラザルアタハスト  
任重而道

遠  
任ハ荷ト云義ナリ其負ラズノ任オモクノ又ユラ  
道トキソコレ士ノマサ弘毅ナル  
仁  
ベキ故ヲトク蓋レ弘ナラザバ其重キニタフル  
ナレ毅ナラザレバ其遠キニ致ス  
ナレ  
以爲己任不亦重乎  
己任重キ實ヲトク仁ハ人心ノ全徳ニテ萬善ヲスベタリ然レラ己ガ  
任トシテ必コレヲ身ニ体メ行ハムク欲スコレ其任ノ重キニアラスヤ  
死而後己不亦遠乎  
コレ道遠キ実ヲトクヒラ心体カ行スル志必死ニ至リテ後キム息  
ナラ存スレバレバクモラコトヲ得スコレ其道ノ遠キニアラスヤ

子曰興於詩  
此章ハ學者藝ニ游ブ上ニツイテ平生學子習スル  
吟詠ノアゲサゲクリカス間入心ヲ感動スル  
又ヤスレソノ本人情ニ由タルガ故  
知リヤスココレヲ吟詠ノアゲサゲクリカス間入心ヲ感動スル  
又ヤスレソノ本人情ニ由タルガ故  
詩ヲ誦スル上ニライテコレヲ  
立於禮  
礼ハ恭敬辭讓ヲ本トシ外ニ六節又度數ヲ詳ニシテ  
得ルナリヨリテ詩ニ興ルト云  
一恭敬ヲフコトフ又此節文ヨリテ威儀容貌ヲモウレ肌  
肉筋骨ヲカタメテ以テ恭敬ヲ有ス内外モ相養ヒテ此身ヨクヒトリダチスコ  
故ニ學者ノ  
中比得ル  
驗ニ卓然ト自立ノ事物ニウカシムバシザル  
ヲバ必礼ヲ習ハス  
上ニツイテコレヲ得ル  
ナリヨリテ  
成於樂  
樂ハ五聲十二律ヲソナヘテ調ヲナシ曲ヲ作り  
高下清濁タガヒトナ  
ルコト云  
成於樂  
一ルコト云  
歌フ者舞フ者金石絲竹ヲ奏スル者ノ音調節度ヲナ  
スコレヲ歌ヒコレヲ舞ヒコレヲ奏スル者共ニ其性情ヲヤシナシ其体貌ヲヤハラク  
コレヲ以テ  
ノ查滓ヲケシ習俗ノ邪穢ヲスグベシ  
コレノ故ニ學者ノ終リニ得ル  
驗ニ義精ク仁熟シ  
レ并ツトメズ  
道徳ニ和順スル  
ヲバ必樂ヲ作ス上ニライテ  
○子曰民可使由之  
民トハ凡民ヲ云之ノ字ハ道理ヲサス下同ジシレ君トノ凡民ヲオサメ教ル  
一凡道理ノ當然ナレ由リシタガヒテ行ハレムル  
ハコレヲセラレベキ  
不可使知之

子曰民可使由之  
不可使知之  
不可使知之



道理ノ然ルニ一デハ凡民ニサトシ知ラシムルヲアタハス只コレニ由ラシメンコトナリトソノ聖  
人ノ教ヲミウクフル天下ノ入コト道理ノ本ヲサトサシク欲セザルニアラス然レモ勢コトクニ  
サトスアタハザルナリ後世法ヲ巧シ令ラシツラヒテ民ヲ愚クシ  
ツカフ術アリ此バ意アリテコレヲ知ラシメヌナリ其義ハナカトナリ ○子曰好勇疾貧

亂也 コレ勇者ヲ戒メ玉ヘルナリ勇ハ徳ニアラザレドモツガ貧キヲ  
イトヒカム時ハ其分ニ安ニセザル意アリテツイニ悖乱ラナスニ至ルナリ 人而不仁疾之已

甚亂也 コレ小入ヲオサムル者ヲ戒シム人ノ不仁ヲニクムト甚キニツアリ其不仁ヲ上ダフカササ  
コレヲニクムトノスギタルヌカレラトリヒレグカラハカラスノ急ニコレラセムルニナカレガ乱

ヲ致ノ反テ已ニ善アリ此ニシテ者ノ心ハ善惡コトナリトイヘバソノ乱ヲ生スルハ同ジキ故ニトリ  
アハセテノ玉ヘルナルレシヨ勇ヲ好デ貧キヲ疾ムノ乱勇者ヲ戒ムトイヘバ勇者ヲヤシナヒツカフ人

毛亦此戒ヲ知テコレヲ 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
御スル道ヲ思フベシ ○子曰如有周公之才之美 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

其オノ美ヲコレニタトフ 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 使驕且吝 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

ノ長一事ノ善アルモニテ取ルニタル者ナキ故ニコレヲミルモタラザルノミ程子ノ云ク驕ハ氣ノ盈  
テルナリ文ハ氣 謙ヲナリ朱子オモヘラク此ニツノ者其意コトナリトイヘバ其勢モツ子ニ相ヨル蓋シ

驕ハ各ノ枝葉ナリ驕ルニアラサレバソノ吝ムハカヤカスフナレバ各ノ驕ノ本根ナリ吝ムニアラサ  
レハソノ驕ルハタモツコトナレバ故ニルソ天下ノ人ヲコロムル驕ニ各ナラズ文ニ驕ナラザル

者イマダコレアラズト按ズル人ノ才能モト夫命ニウケタレバコレヲ人ノ不足ラタスケ共ニ天  
下ノ用ヲナスベシ然ルラヒトリワガ私トセバ必天誅ヲウケテ凶禍ヲノガルカラス凡ノ富貴權

勢ノ類モミナコト 此至ノ字ヲ志ニ作リテ  
同ジキナリ ○子曰三年學不至於穀不易得也 此至ノ字ヲ志ニ作リテ  
見ルベシ穀ハ禄ナリ

人學ブト三年ヲ積ム時ハ功ヲ用ルコトヤククノホ得ル歟アリ然ルニナラ利禄ヲ求ルコト志ナ  
キハ道ニ志スアツシカヤウノ大モ得ヤスカラズトナリ○三年ヲ積ム志ガズト云ニ只自奉スル

歟ノ美ヲ求メザルノニアラス積學三年ニ反フ時ハ則世用ニ應ノ自コロニク欲スル意アリ然ルニイ  
マダ仕ヲ求ルノ志アラザルハ大イ成シテ大イ用ニトスル志ナレバコハイヨク得ガタカレベレ韓氏ノ云ク後

世ノ士六禄ヲ求ルノ志ミナ學ヲスルノ 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 子曰篤信好學 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

ナキナリ好學トハ其信スル歟ヒラニ信ゼズノ 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 守死善道 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

其理ヲクハシクキハメ体ヲ明ニ用ニカケフル云 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 危邦不入 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

タクニ死ヒズメ其道ヲ全クスル云蓋シ死ヲ守ルハ信ニアツキノレシレ道ヲ善クスルハキ  
學ヲ好ムレシナリ此等ノ者用ヲ相ナシテツラモカクベカラスコレ士タル者ノ本領ナリ

國ノ勢ステニ危キ時其國ニ居ル者ハ 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 亂邦不居 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

去ルベキ義ナレ外アル時ハ則ルヘカラス 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 無道則隱 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

有道則見 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 無道則隱 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

亂レテ道ヲサガル云 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

皆其道ヲツクスコトタ篤信好學守死善道者ノ 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

ノ如シ 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛 邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛

邦無道富且貴焉恥也 此章詞ヲウケテ人ノ驕文ヲ  
戒メテナリ古ハ才能技藝ノ盛







舜有臣五人而天下治

ルコレ八門人下ノ天子ノ語ヲ明サシタメニツク此ノ一句ヲ着ク五ノ禹稷契皋陶益ナリ

武王曰予有亂

臣十人

コレ天子書ノ泰誓ノ語ヲヒキテ治ナリ天下ヲ治ムルノ臣十人アリトナリ十人ハ周公召公太公畢公榮公太顛闕天散宜生南宮适今一人ハ武王ノ后邑姜ナリ九人ハ外ヲオサ

孔子曰

コレ武王ノ語ニツイテ論シテ詞ナリ孔子ト稱スルハ才難不其然乎ヲオサム 記者ソノ武王ノ語ニツケルヲ以テ君臣ノ分ヲ明セリ

唐虞之際於斯爲盛

斯トハ周ノ古來人オ盛ナルヲ唐堯虞舜聖々相ツケルアヒダノ三周ヨリモ盛ナリ夏商ヨリ以下ハ三周ニ及ズトナリ記者舜ノ五人ヲ以テ周ノ十人ヨリモ盛ナリト云ニアスソノ人オ周ノ十人ヨリモセリタル

有婦人焉九人而已

才難ノ後周バカリ盛ナリトイハズ十人ノ内ハ八婦人ニシテ三分

天下有其二以服事殷

コレ天子上武王ノ語ヨリテ又武王ノ語ヲヒキテ服事トハヒダガヒツ

之德其可謂至德也已矣

文王ノヲ周ト云テ文王トイハザル一上殷ノ字ニ對シテナリ至德ノ義上ニ見エタリ文王ノ徳商ニ代リテ天下ヲトハニタ

子曰禹吾無間然矣

問トハ物ノヒカケヌナリ大禹ノ徳周全ナル故ニソノ間

血呼域反

非飲食而致孝乎鬼神

コレヨリ下間然スルノ事ナリニツクテ三事ヲアゲテ以テ

乎黻冕

黻ハコシホヒ見ハ玉ノ冠ニナ祭服ナリ禹ハ常ノ衣服ニシテ

禹吾無間然矣

再コレヲノモフハ深

子罕第九

此篇傳述而ノ篇ト相類ス多クハ聖人己ヲ謙リテ

子罕言利與命與仁

夫子利欲ノ利ヲイテハ全クノモハズ時アリテノ至フ要ハ義ノ利スル

モシ多ク其利ヲ云時ハ人ニツク利ヲハカル意アル故ニ義ヲワスレテ私欲ニナガルツクイニナリ命ハ理ヲカキテ天命流行ノ物ニ賦スル要ソノ理ニトニ微ニイヒカタシ又ソノ氣數ニツククル要ハ人ニサニ己ヲオサメテ以テソノ至ルニカスヘシモシバノ命ヲ云時ハ則コトクク氣數ニダテテ人專ラスツクツイエアリ行道至大ナリ必己レカクテ礼ニ復リ然メ後コレニ至ルベシモシダリニ云時ハ人虚ニセ等ヲコユルツイエアリヨリテ皆コレヲノ至フコトナリノ朱子ノ云ク聖人利ヲイハトイハ云要ノ者利ニアラズト云フナレ命ヲイハズトイハ云要ノ者命ニアラズト云フナレ仁ヲイハ



不トイハレ云々者仁アラスト云ナリ  
○達巷黨人曰達巷黨ノ名ソノ大哉孔子  
ナリトスソノ道徳ノ大ナルヲ云  
ルス

テア博學而無所成名  
一藝ヲ以テ名ヲナサズルガ惜キトノ意ナリ  
子聞之謂

弟子曰吾何執執御乎執射乎吾執御矣  
夫子黨人ノ已ラホムルヲキミテソノ  
博ク學フト云フヲ外テ只名ヲ成

射ヲトシテカワレハ御ヲトリテ名トセトナリ御ハ僕ノトクニ  
ウケテコトシテ全ク謙辭ナリ○聖人ハ道全ク徳ソナハルモ  
名ツクヘカラス況ヤオ藝ヲ以テコレヲ名ツケヤ黨人ノ向  
○子曰

麻冕禮也  
古ノ冠ニナシテカワレハ御ヲトリテ名トセトナリ御ハ僕ノトクニ  
ウケテコトシテ全ク謙辭ナリ○聖人ハ道全ク徳ソナハルモ  
名ツクヘカラス況ヤオ藝ヲ以テコレヲ名ツケヤ黨人ノ向  
○子曰

今也純儉  
純ハ純ナリ儉ハ儉ナリ  
○子曰

吾從衆  
衆トハ今ノ世俗ヲサシテ云  
○子曰

今拜乎上泰也  
夫子ノ時君ヨク臣ツヨキニヨリテ君ノ辭讓  
○子曰

下  
世俗ニタガフトイフニハ下ニ拜スル礼ニ從ハントゾ此章  
○子曰

子絶四毋意毋必毋固毋我  
絶四トハ意必固我ノ四ツヲ云フテナリ  
○子曰

子畏於匡  
匡ハ地名コレヨリサキ魯ノ陽虎邑ニ入テ  
○子曰

如曰文主既没文不在茲乎  
道ノアラフ人者ヲ文ト云礼樂制度コレナリ茲トハ夫子  
○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰

○子曰







齊衰ハ喪服ノ名布ノカキメヲツツザルヲ弊衰ト云コレハツツヒタルヲ齊衰ト云冕衣裳  
コトニ齊衰トアリハ斬衰ヲモカキタリコレ見ト衰服キタル者ヲツツガケテナリ冕衣裳

者ト冕ハ冠ナリ衣ハ口上ニキル物ヲ云裳ハモ下ニキル物ヲ云冠キテ衣裳ヲツツタル者貴人ナリ  
與瞽者トナリ見之雖少必作ノ

三種ノ人ト相見シモフ時ニ其年ワカセトイヘ必タチテ敬ラナレトモ相見セズ  
至フ或ハノ云ク少ノ字ヲ坐ニ作ルベシ坐ノ居モフ時モ必タチモフゾ過之必趨  
トアリモフ時ハトクワリ去リモフカレタツシ礼スル勞ヲカケテナリ○范氏オモヘラク聖人ノ心喪アル

ヲカナシ位アルヲタツトヒトナラザルヲアルムヨリテ其作ツト趨ルト自然ニ必然リ意ヲツケテ  
必カクスルヲラズ尹氏ノ云ク此聖人ノ誠心内外ニ于ル者ナリ蓋シ内チカクノ如クナラズ外カクノ

如クスルハ偽ナリ内カクノ如クテ外カクノ如クナラザルハ誠ノタマ至ラザルナリ聖人内外ニ  
誠ニヨリテラフゾ

顔淵喟然歎曰ル歎アルヨリテ嘆美セラレタル語ナリ一章ニ喟然  
カクカクノ如クナリ

仰之彌高ト云夫夫子ノ道ヲサス下同シソノ高シト見ル歎ヲアラフイテシ  
ノ嘆キ

彌堅ト云夫夫子ノ道ヲサス下同シソノ高シト見ル歎ヲアラフイテシ  
ノ嘆キ

焉在後ト云ソノトリトメガタキ歎ヲ目ラスマノ見スヘントスルニ今テ前ニアルカト見ユル者忽チ又ウ  
モナクソトリトメガタキ歎ヲ目ラスマノ見スヘントスルニ今テ前ニアルカト見ユル者忽チ又ウ

夫子循循然善誘人ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

博我以文約我ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

以禮ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

義前ニ見ヘタリ允ソ教ル歎ノ大綱細目皆博約ノツイデアラフゾ  
義前ニ見ヘタリ允ソ教ル歎ノ大綱細目皆博約ノツイデアラフゾ

卓爾ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

既竭吾才ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

欲罷不能ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

如有所立卓爾ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

雖欲從之未由也已ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

子疾病ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

子疾病ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

病間曰ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

久矣哉由之行詐也ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

吾誰欺欺天乎ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

無臣而為有臣ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

無臣而為有臣ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

無臣而為有臣ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

無臣而為有臣ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

無臣而為有臣ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ

無臣而為有臣ト云夫夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ  
トハヒキスムルナリ夫子ノ道高妙ニテ学ビガタシトイヘソノ人ヲ教ヘテ



欺也人ハアガムカレシケレバ天ヲ欺キトシ人トシテ天ヲ欺クハ彭大ノ

罪アリ夫子ミツカラコレニアタリモフハフカク子路カ非ラセトナリ

之手也無寧死於二三子之手乎

且予縱不得大葬予死於道路

乎

○子貢曰有美玉於斯

求善賈而沽諸

子曰沽之哉

子曰沽之哉

我待賈者也

○子欲居九夷

之何

子曰吾自衛反魯然後樂正

雅頌各得其所

子曰出則事公卿

入則事父兄

喪事不敢不勉

不為酒困

何有於我哉

子曰在川上曰逝者如斯夫

不舍晝夜

○子欲居九夷

之何

子曰吾自衛反魯然後樂正

雅頌各得其所

子曰出則事公卿



夫子川ノホトリニイノ水ノ流ルヲ見テ天道ノヤムナキヲ嘆ビト詞ナリ逝者トハ天地ノ運  
ユク者スギ来ル者ツクコトヲスベテ云川流ノホソノ中ナリ如斯夫不舍晝夜ト晝夜ノ時ヲス  
テラカズノ意ノトトルナキコトカクノ如ク九カナトゾ一説ニ晝夜セズトヨム蓋シ逝者カクノ  
如クニヤザルコト即チ道ノ体段ト本来自然ニカクノ如ク中ニモサレテコレヲ見ヤスキ者ハ  
川流ニクコトナレヨリテ此嘆ヲ發シ學者ヲ天道ヲツトリ時々存養ノ功ヲ勉メ  
ノ間斷ナカラレメク欲シナリコレヨリ篇ノ終リニ至ルニテニ人ニ學ヲツトメテセザルコトヲス  
ムルノ

○子曰吾未見好德如好色者也

徳ハ己ニアリ人ニアルヲカキテ云徳ヲ好ム  
色ヲ好ムガ如クスルハ徳ヲ好ム誠アルナリ

ソレハハニテ兼養ノ性ヲツケタル故ニ蓋シ徳ヲ好ムト云フナレバコレヲ好ムト誠アル者スクキノ  
○史記ニ孔子衛ニイニセシ時靈公夫人南子ト同車ニリ次車ニ孔子ヲセテ而ラトテ孔子コレヲ  
ニクニテカクノ至リト按ズルニ色ヲ好ムノ情ハ移氣ノ私ニツコノ故ニツ好ムト切ナリトイハル蓋  
惡ノ心亦ヤムコトアハサル故ニ本然ノ性ニツコノロカラズ徳ヲ好ムノ情ハ性命ノ正キニ本ツク  
故ニ仰シテ夫ニハズス俯シテモ人ニハズズノユクトメ快足セズト

○子曰譬如爲山未成

箕止吾止也 書云ク山ツクル九切ナルモ功一篲クト夫子ノ言蓋シコレヨリ出タルナリ  
箕ハ五弓ナリ山ツクリテナルニテトスル時ニ只一篲ノ五ヲカキテナラサル

アリコノヤムコトカナラズノヤニ 又平地ノ上ニ方三篲  
アラスワレトコトナリテヤムナリ 譬如平地雖覆一篲進吾往也

此下トイハル必ナサシノ志アレバツノス、六ワガス、ニユクナリ人ノカラカラスメ足レリト此兩段ハ詩ノ  
此体ノ如シ云意ハ學者自ツトメテセザル時ハ則チ少ツツテ多ヲナス中道ニヤム時ハ前功コト  
コトクスタル其ヤニ其ユクコト 諸弟子夫子ノ  
ニテ我ニクテ人ニテスナリ ○子曰語之而不惰者其回也與

多クハコレヲサトリエズソノ行フコトモ亦コレヲレ井ツトムヨリテソノキクヌウニラコタルヲマ  
スガレズ顔子ハ夫子ノ言ニテ悦ビスト云ヌナレコレヲ身ニ体スルノ拳々ト々奮ツケテ失ハズ  
草木ノ時雨ニアルホヒテノヒサカフルガ如クシテコタルコトカアラシコレ諸子ノ ○子謂  
及バザル所ナリ夫子コトニ顔子ヲ稱スルハ諸子ヲハゲマサンガタナリ

顏淵曰惜乎吾見其進也未見其止也 顔子ステニ卒スルノ後夫子嘆  
惜シ玉ヘル詞ナリ進止二字ノ義

譬如爲山ノ章ト同シ蓋シ全ク体ノヤザルハ 子曰苗而不秀者有矣夫  
仁ナリ顔子ステニ仁ニタカハスヨリテ亦ヤムコトナリ

五穀ノ種メテ生スルヲ苗ト云ソノ華ヲ 秀而不實者有矣夫 ステニ秀ルニ至リテ  
ハクヲ秀ツト云イハダ秀テズノカル者アリ

後生トハワレヨリ年ワカキ者ヲ云其ユクサキ年富ミカツヨク 焉知來者之不如也  
學ヲ積テ成スコトヲ待ニタレリ其勢ニコトニ畏ルベシ

來者トハ未耒ヲ云云意ハコノ少年ノ人イツクシテ將來ニテモワ分難ク今日  
シカガルトヲ知ラン共ス、ミミスコトハカルカラストコレ即チソノルキ憂ナリ

聞焉斯亦不足畏也已 此ハ四十五ニテモナラ世ニキコフル実ナクハコトニ至テクヒテ  
以テスルコトアルニタフスコレ人ニサニ時ヲ

失ハズノ學ヲツトムヘキヲスヌメテ手詞 子曰法語之言能無從乎 凡ソ人ヲ  
ビクニ法アリ一ツニ法言ナリ正クイヒテ其心ニサカフヲモハカササルヲ云ソノ言多クハ古ノ法言  
ニヒク故ニ法語ノ言ヲ云ナリコレヲキク者ソノ道理正ク明ナルヲ以テ必ツレニハカレドレレ



タレカコレニ從フ改之爲貴 トコレ從フ時ハ則ツノ行實ヲ非ラ改ムヲ以テ 異與之言 トナキヲ得ヤ

能無說乎 ニツハ異言ナリ異ハシタガフツ異順ニコレガ與ニ和曲ニチビクヲ以テ異

カコレヲ悦バザ トコレヲ悦ブ時ハ則ツノ前趣ヲタツ子思フヲ以テ貴レトス 說 ルヲ得ニヤ 釋之爲貴 然ラザレバ其詞ノ中ニヨセタル意ヲレラスノ亦益ナシ

而不釋從而不改吾未如之何也已矣 コレニツゲテ達セズコレヲ拒テウケザルハ

改メ釋ル トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 ○子曰三軍可奪帥也 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子

三軍ノ說前ニ見エタリ帥ハ大将ナリ三軍ノ衆ヲ以テシタガヒボル將帥ハ キハメテヲカシガタレトイヘレ其勇衆ノ力ニアルヲ以テ或コレヲウケルレ 四夫不可奪

志也 匹夫ト夫婦サレムカヒノ民共ニ一志ヲキル故ニ匹夫匹婦ト云然レバ匹夫ト云ハ夫ヲ云

志ト云ニタラズコレハ志ヲ立ニトラス トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 ○子曰衣敝緇袍 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子

ハ緇イレクル衣ナリ緇トハ綿ヲ用ヒズノ麻ノヲウチク トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 與衣狐貉者立 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子

其皮ヲ以テツクセル裘ヲ云コレ價ノタカキ衣ナリ緇袍ト狐貉裘トハ共ニ寒キヲ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 而不恥 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子

者其由也與 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 貧富ヲハカリタラブル意ナキコトヲカタドル必レモ實ニ此事アリト見ル

カラズ蓋シ貧富ヲ以テ心ヲウゴカサル者ハ道ニ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 不佞不求何用不

臧 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 詩ノ衛風雄雉ノ篇ノ詞ナリ凡ソ貧キ者富タル者トバリケテ貧キヲ恥ル意アレバソ

アリコト故ニ夫子此詞ヲ引キテノ云ク子路イカクノ如クナラ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 子路終身誦之 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子

レ至ヘル故ニツ子此詩ノ詞ヲ引キテヨロヨリ然レバ身ヲ終ルニテ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 子曰是道也何足

以臧 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 詩ノ詞ヲウラ及ヒテ子路ヲサトシテ道ニシテヲ勸メ至テ詞ナリ○謝氏ノ云ク

惡衣惡食ヲハツルハ學者ノ大病善心存ゼザルハ蓋シ由ル子路ノ志カクノ如クノ人ニ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 知松柏之

後彫也 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 松柏ハニツヒノキナリ彫ハ凋ノ字ニ作ルモ此章モ此ノ体ナリ春彫ノ間ハ諸木ニ

諸木ノニホムニラクレテトキハノ色アルヲ知ルトツコレ小人モ治世ニ居ル時ハ君子トトナラズ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子

見ユルアレバ只利害ニツ事變ニアフニ至リテ後君子ノ守ル要ノニサホ貞固ニカハスガリ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子

明ニ見ツキ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 ○子曰知者不惑 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 智者ハソノ明睿以テ道理ヲシラスニタレリ

不憂 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 仁者ハソノ道徳以テ私欲ニ勝ツニ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 勇者不懼 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子

仁者ハソノ道徳以テ私欲ニ勝ツニ トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 勇者不懼 トモアルレモレ從ヒ悦ブトイヘレコレヲ改メ釋子 勇者ハソノ氣力以テ道義ヲ



ヲゾミテモコレヲ慎シスコレノ人ヲトクトイヘ知仁勇ノ三ツハ又學者功ヲ用ルノ次第ナリ  
智以テコレヲ明シ仁以テコレヲ守リ勇以テコレヲ行フナリ○ソレ智仁勇ノ三徳ハモト身ヲチ  
ハル者ナリトイヘ凡學ニテコレヲ修メザレバ成レ得テ其手ニ入ルコトアタハズワノ學修ノ工夫モ亦  
ハシメヨリ此ニツラツモカクテ得ズ三徳成ルニ至ル時ハ其用廣大テキハミツク九ノナレト知レ

**子曰可與共學** 此章ハ學者ステニ求ラスムニサラシク又ニ歩ラズニツトメハケン必クノ極  
カ子タリ學適立權ノ四子並ニ知行ヲカ子テ見ルベレト共ニ  
學ズベキハ此道ヲイテ求ルヲ知テ專ニコレヲ求ル人ト云 **未可與適道** ステニ求ルヲ  
知レバ此道ニツ

**可與立未可與權** 權ハ分カリノオモシ物ヲハカリテ輕重ヲ知ル所ナリ  
テアタハ、  
ナル人ヲ云 **可與立未可與權** 權ハ分カリノオモシ物ヲハカリテ輕重ヲ知ル所ナリ  
テアタハ、  
ナル人ヲ云

幾變通ノ宜ヲハカリサダムルコトアタハサル人ヲ云○凡ソ權ト云ニ義アリ經ニ對ノ時ハ經ハ萬  
世不易ノ常道ナリ權ハ經ノフサガリタル所ヲ變ノ通スル一時非常ノ道ナリステニ亦及通  
スル時ハ又常經ニモトラスコレ權ノ正名本義ナリ又何事モタニ法ニナツテ時宜ニカナハサレ  
對ノ云時ハ即コレ中庸ノ道ナリ日用常行ノ間事ニシタガヒ時ニヨリテ其宜キ所ヲハカリ定  
ムル

**康棣之華偏其反而** コレヨリ下ニ段ハ今ノ毛詩ニ入ラザル逸詩ノ詞ナリ下  
ヲ云 夫子ノ語コノ詞ヨリテ出タル故ニ記者一ツコレヲシル  
康棣ハ木ノ名偏ト反トハ即翻字ナリ此ニ句ハ與ナリ別テノ意義ナレ只コレ康棣ノ花風  
フレヒルガヘリヒルガヘルヲ見テ其心ウコキ下ニ云爾ト云入ヲ思ヒ起セルヨリテコレハ與ノ詞ト  
スル

**豈不爾思室是遠而** 爾トハタラサス所ニレズ云意ハ我久クヲトシガハナラ  
爾ヲ思ハザルナラシテ爾ノ家ホド遠ナレバナリト云

**子曰未之思也夫何遠之有** 學者ワカ心ニ反リ求ルコトアタハズ  
常ニ道ノ遠キコトヲウレトスヨリテ

**鄉黨第十** 楊氏ノ云ク聖人ノイハル道ハ日用ノ間ハナレズカレガ故ニ夫子平日ノ動  
靜門人ニテ審ニ視テ詳ニ記ス尹氏ノ云ク甚イカナ孔門諸子ノ

學ヲ嗜メルヲ聖人ノ容色言動謹シテ書シテ備シテ録シテ以テ後世ニ贈ラスト云  
ナレ今其言ヲヨミ其事ニテ死然トノ聖人ノ目ニイラスガ如シ然リトイハレ聖人ノ二指々ト  
コレラスル者ナラシテ蓋盛徳ノ至レル動容周旋ヲソツカラ祀テタルノニ學者心ヲ聖人ニ  
マク欲ヒバ宜クコニライテ求ムベシ楊雄キガ云ク鄉黨ノ一編ハコレ聖人ノ心ニ從フノ矩亦コレ

隱スナキノ教只ツノ  
時ノ字コレヲ盡セリ

**孔子於鄉黨恂恂如也** 此節ハ夫子鄉黨ト宗廟朝廷ニイヌ時ノ言語容貌ノ  
コトナルコトヲ示ス郷黨ノ字義前ニ見エタリコレハ夫子ノ

スニモフ郷黨ナリ恂々トハ信実ナル見スナホニノ儀文ナキ意アリ恂々ノ  
ニ字ニテカカドリツクサレヌ故ニ又知ノ字ヲツクナリ下ノ知字ニテ同シ **似不能言者**  
其詞謙リ順ヒテ物ヲイハヌ者ノヤウナル賢智ヲ以テ人ニ先ダザルヲ云コレ亦 **其在**  
恂々タル内ノ一ナリ蓋シ郷黨ハ長者宗族ノニシテ分ナレ故ニソノ言貌ヲソツカラカク知

**宗廟朝廷便便言唯謹爾** 其ハ夫子ヲサス宗廟ハ魚君ノ廟便々ハ辯說ノ義ナ  
リ宗廟ハ礼法ノアル所ナリ以テ其言ニツカレ



時六詳之問了事ヲ行スレ朝廷ハ政事ノ由ルヲナレバ議論ノ説ヲキハムベシヨリテ  
皆明辨ナラザルヲ得サレバ只コレヲツクシテホレイニハノ五ハザリシナリ ○朝與

下大夫言侃侃如也 コレハ天子朝廷ニイニシテ上ツツカウツツリ下ニシハリモフハノ同ガ  
ラガルヲラレルス諸侯ノ卿ラエ大夫ト云ヨリテ次ノ大夫ヲ下大夫ト

云時三夫子下大夫ナリ侃々ハツヨクナラキ義ナリ朝參ノ時君イタ出テ朝ヲ視テハ爾間讀大  
夫ト議論シ至フアル時ソノ下大夫ト物ノモフハ詞ヲナク論ヲ正クノイニカクモ手ヲ取ナレ

與上大夫言誾誾如也 間々ハ和悦ニアラソフ義ナリ上大夫ヲウヤヒモフ  
故ニ詞ヲヤハラカニアラソヒ正ス意ソノ中ニアリ 君在

踖踏如也與與如也 君在下出テ朝ヲ視テ時ヲ云踖踏ハウセヒツシテヤスズル  
見與々ハ威儀ヲノツカラ中ニカナハル見此ニ句ハ即コレ恭レウツ安キ

義ナリ一説ニ張子ノ云ク與々ハソノ心君ニムカフ ○君召使擯色勃如也足躩

如也 諸侯相朝會ノ賓主トナル時賓君イタレ時ハ主國ノ君大門ノ外ニ由カテソノ來レ  
ル意趣ヲトヒキク其時賓主ノ間ニ立ツナリテ其命ヲウツタフル役アリ賓ノ方

ヨリ出ルフ介ト去主君ノ方ヨリ出ラ擯ト云君ノ位ニヨリテ其數多少アリ上ハ卿次キ大夫末  
ハ士ナリ勃トハ色ヲ変スル見躩トハタチモトホリテスニカタキ見魯魯隣國ノ君來朝ノ時

魯ノ君夫子ヲ召テ擯セシメ玉ヘバ君命ヲ 揖所與立左右手 揖トハキヲ撰キサレ出レテ  
敬ヒラルニヨリタツノ色カタチカクノ如シ

夫子次擯トナリモフ故ニ左右ノ擯者ト共ニ賓主ノ命ヲ次第ニウケツタテ出レ入レモヨリテ  
其身ヲナカバ子ガリテ共ニ立ツルノ入ト相揖シ左ノ人ヲ揖スル時ハ手ノ左ニ出上右ノ人ヲ揖スル

時ハ手ヲ右ニ 衣前後襟如也 襟トハ衣ノタレトノヒタル見ナリ威儀ウヤクシクテ正キ  
故ニ相揖シ至フ時ニ其身ハ子ガレ衣ノ前後ハタレトノヒ

趨進異如也 翼トハ手ヲ撰キ臂ヲハリテ正キ見鳥ノツバサヲムタルガ如  
キゾコレハ賓主ノ命ヲ通ジラハリテ主君賓ヲ請メ入レラレ擯

者モソノアトニツキテ入ル時ニトクワレリテスニ五 賓退必復命曰賓不顧矣 復  
トモソノ威儀クツレズノレカモ 脚雅ナルゾ

トハ必命ナリ君ニウケタル命ヲツトメテハリテ返詞スルナリコレハ賓君退出ノ館舎ツカレ  
時主君擯者ニ命ヲ送ラセラ擯者賓ノ車ヲミラクリテ入テ反命スル詞ナリ賓君ステニ遠ク

去リテカハリニモハストゾ顧ミナルハ礼ニ殘ル死ナキ故ナリ此時ニテ主君ナラカニ入り玉ハサル  
故ニカク由ニテ君ノ敬ヲラズゴコレ定リタル式ナレ時ノ人多ク忽略ス夫子ハ必反命シ至ル

○入公門鞠躬如也如不容 コレ亦夫子朝參シ玉ヘル時ノ礼容ヲシルス公門  
ハ君門ナリ諸侯ニ三門アリコレハ六ヒナル路門

ヲサス鞠躬ハ身ヲカムルゾ君門高大ナリトイヘ 立不中門 門ノ中ニ立  
敬意至レル故ニ身ヲカメテ入ラレガルガ如クニエモフ

ヨリ出入スソノ中ホドハ君ノ出入スル西ニ臣ハ西ノカタワキヲトラル 行不履闕 行トハ門ノ出  
ヨリテ夫子門下ニ立玉フ時モソノ中ホドニアタリ玉ハガルナリ

俗ニ云ヒ井ナリシキミヲコエズノフ六無礼ナレバナリ 過位色勃如也足躩如也 過位  
此ニ有ハ君門ニ出入スル常式ニテ夫子必ニニタカハセマナリ

位トハ君外朝ヲ視テ時ノ位ナリ占ハ門内ニツイタテノ第アリ此屏ノ前ニ君立リモフ此時ハ君内  
朝ヲ視テ堂上ニイマセル故ニコハ虚位ナリサレ夫子ソノ前ヲトフリモフ時ハ必敬ヲオコフカク

如其言似不足者 君ノ虚位ヲスキモフ時同列ノ臣ト物ノモフア  
シニシテホレイマナラズ其詞タラガルニ似タリ 攝齊升堂

鞠躬如也 君モレ夫子ヲ堂上ヘ召ノボセモフアレバ階ヲノボリモフ時カクノ如シ  
兩手ニテモスソラカバダハツツカザランガタメナリコレ亦礼ノツ子ナリ 屏氣似

崗干通反



不息者

堂上ニテ至尊ニチカツキテ故ニイキガシラ

出降二等是顔色怡怡如也

一等ハ階ノ一段ナリ怡々ハヨロヨロシキゾ君前ヨリ退場階一等ヲオリモフ時ハ没階趨翼如也

階ヲオリツシテモトノ所ヘカヘカ復其位蹴踏如也

○執主鞠躬如也如不勝

如不勝ハ主ハ輕ケレバ上如揖下如授

其重キト下ハカカキツ

スギスノサガレハ時モ物ヲ

容色

聘ハ君ノ命ヲタツトブヨリテ敬ニアラザル其礼ヲツクスコナシ

私覲愉愉如也

君子不以紺

取飾

衣裳トシテ六サルヲ云三及バスコレ

又考エ記三三入為練五入為緇ト云

黒クツルヲ緇ト云此ニツ相連キ色

紅今ノ赤色赤白ニシハリテ

暗ノ服ニシヨハガルハ云三及バス

ナルレシ又鞆服ヲ註ニ私居ノ服

ナリ身ニ近キナレキ又云時ノ入

當暑衫絺綌必表而出之

ツツ下ガサ子ヲキテカクヒラ

麋裘黃衣狐裘

裘ノ上ニテ毛ヲカクス物ナリ

色ヲ相カナレメントナリ朝服上

長短右袂

日書國書詳人倫五



喪ハ尺アタカナルニトリテコレヨリモ長クス右ノ袂ヲ短クスルハ事ヲナスニタヨリアレバナリ一長短  
三ナソノ宜キニカナヘリ一説ニ喪ノ衰ナリ尺カタク短クノ事ニタヨリスルハ聖人ノ氣象ニアラス  
此段ヲ衰ノ衰ハ長短右袂ト云ベシ右ト有ト古字通ズ衰ノ衰ハ長クモ短クモ 必有寢衣  
法式ニカハラス時ノ人或ハ袖ヲトリスツレト云ハ子ノ衰ハ必袖アリト

長一身有半 コレハ下ニ齋服ヲ記ス吸ノ齋服ニコレアリ寢衣ハイタル時ニコレナリ一身有  
半トハ身ヒトタケト又ナカトナリ齋戒ノ時ハ常ノ如クニ襦袴バカリニコレ

狐貉之厚以居 狐貉ハ毛フカクソアツクアタカナリ居スルヲ云ハレノ衰ハカ早ヲ去  
以テ貴シトスレト云ハレノ衰ハ温厚ニ身ニカクニコレナリ

喪無所不佩 喪ハ親ノ喪ヲサス古人ハ玉佩アリヲクサリテオビ物トス事佩アリ火ウチ  
小カトイシクモリ筆ヲケケユニテノ類ヲ云君子故ナケレバ身ヲ去ラス夫

非帷裳必殺 テ德ニ比ス又事佩ナケレバ用ヲカクフアリヨリテ喪ヲスキタル後ハ又オビ  
来レル者ヲオビスト云フナレ喪後ニ佩ヨトナルアルギ短クヨリテコレナリ

之 九ツ裳ハ前三幅後四幅朝祭ノ服ハ其裳ヲ正幅ヲ用ヒテ帷ノ如クヨリテ帷裳ト云帷ハタシ  
又ノナリ其腰ニヒタメラトリツム常キル深衣ノ裳ナドハ正幅ヲタチガセバキ方ヲ上ニシテ

吉月必朝服而朝 吉月ハ朔月ヲ云朔ハ蘇ノ字ノ義ニコレヨリ  
月ノ光ハ輪ニ死ノ朔ニ生スルヲ以テ吉ト云朔ハ月ヲスル

必有明衣布 コレヨリ下夫子齋戒ノツツミヲ記ス明衣ハ白布ニツクルモトヲシテ色衣ハ  
縹キヲレ裳ニ縹キヲスコレヲ明衣ト云フ明ハ明潔ノ義ナリ齋戒ハ必沐浴

居必遷坐 ラ必ツ子ノ居ヲウツノ齋室ニ坐ス安便ノナラヒテソノ封越  
ノ敬ヲ忘レテラソレテナリ以上齋戒ノ間ニハラクノ

食不厌精 コレヨリ下夫子饑食ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカストムレ  
ゲタルヨ子ノ飯ハヨク入ラヤシキフガ故ナリサレド精ニアカ

齋必變食 ハラ常食ヲ変メ酒ヲノミス章キヲ  
食ハサルノ類ヲ云コレソノ精明ノ

食而飲魚餅而肉敗不食 饑而飲ストハ饑ニツツテ味ノカクタルヲ云ナリ  
敗ト云肉ノクツルヲ敗ト云此等ハタシ

色惡不食臭惡不食 此ニツハイマダツ子  
ガレバイロカノ變

不時不食 不時トハ五穀ノイマダ  
成ラズ菓實ノイマダ

不得其醬不食 ハ醬トハ今ノ醬油ヲノ類ナリ物トニ各ヨクキ要ノ醬アリテ其味ト  
人其性ヲヤラズ不得其醬トハ他ノ醬ヲ用テトノタルヲ云以上三ノ者

鐘於簋  
饒鳥適反

故ニ曰トイハズノ月トモ云ナリ朝服ハ朝參ノ服ナリ時出テヤメタル人多クハ月朔ニ公ニ  
朝拜ヒス夫子ハ致仕ノ後ニモ此礼ヲステモハズ服モ必朝服ノニタマヘルナリ ○ 齋  
必有明衣布 コレヨリ下夫子齋戒ノツツミヲ記ス明衣ハ白布ニツクルモトヲシテ色衣ハ  
縹キヲレ裳ニ縹キヲスコレヲ明衣ト云フ明ハ明潔ノ義ナリ齋戒ハ必沐浴

居必遷坐 ラ必ツ子ノ居ヲウツノ齋室ニ坐ス安便ノナラヒテソノ封越  
ノ敬ヲ忘レテラソレテナリ以上齋戒ノ間ニハラクノ

食不厌精 コレヨリ下夫子饑食ノ節ヲ記ス食ハ精ニアカストムレ  
ゲタルヨ子ノ飯ハヨク入ラヤシキフガ故ナリサレド精ニアカ

齋必變食 ハラ常食ヲ変メ酒ヲノミス章キヲ  
食ハサルノ類ヲ云コレソノ精明ノ

食而飲魚餅而肉敗不食 饑而飲ストハ饑ニツツテ味ノカクタルヲ云ナリ  
敗ト云肉ノクツルヲ敗ト云此等ハタシ

色惡不食臭惡不食 此ニツハイマダツ子  
ガレバイロカノ變

不時不食 不時トハ五穀ノイマダ  
成ラズ菓實ノイマダ

不得其醬不食 ハ醬トハ今ノ醬油ヲノ類ナリ物トニ各ヨクキ要ノ醬アリテ其味ト  
人其性ヲヤラズ不得其醬トハ他ノ醬ヲ用テトノタルヲ云以上三ノ者



必シモ人ニ喜アルミシケレトソノ備ハ肉雖多不使勝食氣

ラナルヲイミテ食シモハズ

ラ補フガタメナリモシ肉ノ氣カチテ穀氣トハ

カタルカシ

コト聖人心ノ欲スル所ニシタカヘ

或ハ人ヲシテ

民ノ家行旅ノ時ナド

スアモハズ必食

ノ類ヲ以テ

不出三日出三日不食之矣

レバコレヲ食セズ

聖人食スルニ

肉雖多不使勝食氣

人ノ食物ハ五穀ヲ以テモス

酒ハ人ノ多クハ

定ナケレバ

沽酒市脯不食

甲

不撤薑食

薑ハ人ノ神智ヲ通

祭於公不宿肉

祭肉

雖蔬食菜羹瓜祭必齋如也

食

席不正不坐

鄉人飲酒杖者出

斯出矣

鄉人飲酒

雖蔬食菜羹瓜祭必齋如也

食

席不正不坐

鄉人飲酒杖者出

斯出矣

鄉人飲酒

雖蔬食菜羹瓜祭必齋如也

食

席不正不坐

鄉人飲酒杖者出

斯出矣

鄉人飲酒

雖蔬食菜羹瓜祭必齋如也

食

必シモ人ニ喜アルミシケレトソノ備ハ肉雖多不使勝食氣

ラナルヲイミテ食シモハズ

ラ補フガタメナリモシ肉ノ氣カチテ穀氣トハ

カタルカシ

コト聖人心ノ欲スル所ニシタカヘ

或ハ人ヲシテ

民ノ家行旅ノ時ナド

スアモハズ必食

ノ類ヲ以テ

不出三日出三日不食之矣

レバコレヲ食セズ

聖人食スルニ

肉雖多不使勝食氣

人ノ食物ハ五穀ヲ以テモス

酒ハ人ノ多クハ

定ナケレバ

沽酒市脯不食

甲

不撤薑食

薑ハ人ノ神智ヲ通

祭於公不宿肉

祭肉

雖蔬食菜羹瓜祭必齋如也

食

席不正不坐

鄉人飲酒杖者出

斯出矣

鄉人飲酒

雖蔬食菜羹瓜祭必齋如也

食

席不正不坐

鄉人飲酒杖者出

斯出矣

鄉人飲酒

雖蔬食菜羹瓜祭必齋如也

食

席不正不坐

鄉人飲酒杖者出

斯出矣

鄉人飲酒

雖蔬食菜羹瓜祭必齋如也

食



藥イツノ病ヲ治スルヲ知ラズ 廐焚子退朝曰傷人乎不問馬 孔子ノ家ノムコ

魯君ノ殺ナリト云説モアリ也儀云朝廷ニ日退 夫子朝廷ヨリ退キ火ノ処ニキテ 君賜食必

正席先嘗 イハレ必ス坐ラ正レシテテ拜謝後家東ノカキナリ 君賜腥必熟而薦

之 腥ハナク肉ナリ熟ストハニルナリ宗 君賜生必畜之 生モノヲタマフハ君ノ惠ニラ

祭祀賓客ナトノ重 祭ニシテ 侍食於君君祭先飯 膳ニシテ 侍食トハ相伴スルナリ祭ルトハ何ニテモ

キアルヲ待タマフ リシムヲ祭ルナリ人君食スル時膳夫ノ官ニイリテ祭リタマフ外ノモノヲトリ食ラナク

クトリコトニ冬 疾君視之東首加朝服拖紳 疾ハ夫子ノヤヒスルナリ君ハ魚貝衰

フ先飯スリ 疾君視之東首加朝服拖紳 公ヲサス東首ハ生陽ノ氣ヲウケシタ

クナリ紳ハ大帶ナリ云意ハ夫子ノ疾ヒアリレ時魯君ノ來リ見タマフニ病臥裝束スルコトハ

君命召不俟駕行矣 駕ハカリモノ車ナリ大夫ハ常ニ車ニアルユヘカチニテユクナケ

入大廟每事問 魯君ノタメニ祭リヲ助ケタマフトキノナリ大廟ハ周公ノ廟

朋友歿無所歸曰於我殯 友ノ死ニテ石タマハバ駕ヲマタズノ出行ギタマフ車ハアトヨリ追

歸ストハ歸依ヨリタムナリ殯トハ棺ノイニダ葬ラサル間其家ニトメ置テ莫哭スルヲ云他人ノ

トナリタ 朋友ノ道ハ財ヲ通ノ貧富アヒタスル義 朋友之饋雖車馬非祭肉不拜 朋友ノ道ハ財ヲ通ノ貧富アヒタスル義

義ナルユウケテ拜謝スルニ及ハズ祭リニシタル肉ヲオシリイタス 寝不尸 尸トハ死シタルモ

ノハシテ死人ノ如クナラスイスルトキモ手足ヲヒキ 居不容 居ルトハスナク上ノ申々々ナリ

客ニ對スル如クニハシタマハズ只ウチクツロギテ居タマフ 子見齊衰者雖狎必變 狎ハモ

衣ニテニナシタルナリソノ喪アルラカナシタマフユナレナシ人ナリ 見冕者與瞽者雖

者式之式負版者 凶服ハ死人ヲ送ル衣服ナリ式トハ車ノ前ノヨコ木モシ敬スル外ノニ

有盛饌必變色而作 作ハ起ナリ盛饌ハハサカシメタル食味ナリ夫子客トナリテツ

迅雷風烈必變 風フイテトクイカツチナルヲ烈ト云疾雷烈風ハ

迅雷風烈必變 天ノ怒氣ナリ故ニ夫子カナラズ空ヲ變テ敬シ

迅雷風烈必變 天ノ怒氣ナリ故ニ夫子カナラズ空ヲ變テ敬シ

迅雷風烈必變 天ノ怒氣ナリ故ニ夫子カナラズ空ヲ變テ敬シ

迅雷風烈必變 天ノ怒氣ナリ故ニ夫子カナラズ空ヲ變テ敬シ

迅雷風烈必變 天ノ怒氣ナリ故ニ夫子カナラズ空ヲ變テ敬シ

迅雷風烈必變 天ノ怒氣ナリ故ニ夫子カナラズ空ヲ變テ敬シ

迅雷風烈必變 天ノ怒氣ナリ故ニ夫子カナラズ空ヲ變テ敬シ

迅雷風烈必變 天ノ怒氣ナリ故ニ夫子カナラズ空ヲ變テ敬シ



タラ玉藻云モレ疾風迅雷甚雨アバ必ス變ス  
 夜トイハ必スヲキ衣服シ冠キテ坐スト云是レナリ  
 車ニボラントスルトキ正レク立テ綏ヲトツテホリ  
 タラ是ハクツカヘラザランタナリトイヘリ  
 是ハワレニ從ヒシ後人ツ子ニ正レキ  
 フ得スノ非ヲ見出スシキノタナリ  
 フアドハカスマシイタニコニアカリ  
 キノタメナリ **色斯舉矣** 色ハ人ノ顔色ヲ云人ノ顔色  
 カケリニワリテツビヒラカニ見サ ヨカラザレバズオチナリ  
 タメテ後ニ下リトニルナリ **曰山梁雌雉時哉時哉** 夫子アル時山梁アタリラ  
 得シヲ難レタナリ山梁ハ山ニチノホノ橋ナリ雌雉ハメキジナリ雉ノ十歩ニ啄百歩ニ飲  
 ノン時得ズ見タヒ人ハ往々時ヲ失フヲ嘆ジタナリ又色斯舉矣ノ上ニ山梁雌雉ノ四  
 字アルト云ヘリ又色斯舉矣翔而後集 **子路共之** 子路夫子ノ時ナル  
 トアル二句ハ逸詩ナラント云説モルナリ **子路共之** 子路夫子ノ時ナル  
 ス雉ヲ煮熟シ供ヘレユコレヲ食セスニタヒカキテ立タフ是レ子路夫子ノ本心ニ達セスノ熟雉ヲ  
 供ス夫子コレヲ食シタマハサバ子路ソレニ生センヲ恐レタ食ダラトキハワガ本心ニシムク故ニタ  
 ヒ其氣ヲカイテタチ子路ヲサシメタニフトナリ又子路トラントユキムカヒニ雌雉羽タ  
 キレテトビサリヌコノヨク詩ノ心ニカケヒユヘルシタルモノナリ庄云ヘリスノ章説多クレマ  
 ニ畧メ  
 記サス

四書國字辯論語卷四



